

東京放射線

2016年12月号

Vol.63 No.745



公益社団法人 東京都診療放射線技師会
<http://www.tart.jp/>

連 載 誌上講座 第12回（最終回）超音波

卷頭言 すぐ役に立つ???
新春のつどい

篠原健一

平成28・29年度専門部委員会の力

平成28・29年度公益社団法人東京都診療放射線技師会
平成28年東京放射線総目次

会費減額制度のお知らせ

会費減額処置申請書

研修会等申込書

役員名簿

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要件となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

診療放射線技師のための接遇規範

1. 検査に際しては明瞭で分かりやすい言葉（患者さんの分かる言葉）で話す。
2. 患者さんをお呼びするときは、姓・名を確認する。
3. お年寄り、歩行困難、病状の悪い患者さんに対する検査室のドアの開閉は、特に技師がおこなう。
4. 検査室入室後は、患者さんから目を離さないようにする。
5. 自分の名前を名乗り、検査部位と撮影回数を説明し、患者さんの同意を得てから検査をおこなう。特に小児やお年寄りの方で検査介助が必要なときは、十分な説明をおこない同意を得てから検査の介助をしていただく。
6. 脱衣の必要な検査は、検査着に着替えていただく。検査の特殊性から脱衣が必要なときは、露出部をバスタオルなどで覆う。
7. 検査台の乗り降りは、原則として患者さんの手の届くところに技師がいる。
8. 検査手順を守り、患者さんの身体に手が触れるときは事前に同意を得てから触れる。
9. できるだけ短時間で検査を終了し、「お疲れさまでした」等の癒しの言葉を述べる。
10. 検査室から患者さんが退出するまでは技師の責任である。
11. 検査室は常に整理整頓、清潔であること。
12. 仕業（始業・終業）点検は毎日おこなう。
13. 検査部位ごとの被ばく線量はいつでも答えられるようにしておく。
14. 照射録は正確に記載する。
15. 医療人として患者さんから高い信頼を得られるよう努力する。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

2016年

DEC

CONTENTS

目 次

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 すぐ役に立つ???	4
会告1 新春のつどい	5
会告2 第9回MRI集中講習会	6
会告3 第62回日暮里塾ワンコインセミナー	7
会告4 平成28年度第5回業務拡大に伴う統一講習会	8
会告5 平成28年度城西支部研修会	10
お知らせ1 平成28年度第12地区研修会	11
お知らせ2 第16地区勉強会 (TART・SART地区合同)	12
お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内	13
平成28・29年度専門部委員会の力	14
連載 誌上講座 第12回 (最終回) 超音波	17
こえ	
・「荒川クリーンエイド2016」に参加して	26
パイプライン	
・超音波スクリーニング研修講演会2016五反田	27
・平成28年度東京都がん検診センター 第5・6回マンモグラフィ研修会 (ポジショニング入門)	28
・日本医用画像管理学会 第9回フィルムレスセミナー	30
平成28年1~10月期会員動向	31
平成28年度第7回 理事会報告	32
平成28・29年度公益社団法人東京都診療放射線技師会 役員名簿	37
会費減額制度のお知らせ	40
会費減額処置申請書	41
研修会等申込書	47

Column & Information

・イエローケーキ	31
・お詫びと訂正	36
・求人情報	36
・学術講演会・研修会等の開催予定	42
・平成28年東京放射線総目次	43

卷頭言



すぐ役に立つ???

会長 篠原健一

今年も日本人がノーベル賞に輝いた。東京工業大学栄誉教授の大隅良典氏である。

大隅氏は2009年の朝日賞、12年の京都賞、15年のガードナー国際賞など受賞のたびに、基礎研究の重要性を訴えてきた。若いころから、「役に立つ」より「面白い」を優先して研究してきたという。ノーベル賞受賞後の会見でも、「一つだけ強調したいのは、私が研究を始めた時は『病気に役立つ』などと確信して始めたわけではない。基礎研究はそういうものだと認識してほしい」と語った。また、「私の研究のほとんどは、科学研費助成事業（科研費）に支えられた」としながらも、科研費のあり方に警鐘を鳴らしている。申請書には基礎研究であっても「何の役に立つか」を書く必要があるという。（以上AERA 2016年10月17日増大号より抜粋）

慶應義塾大学中興の祖といわれる小泉信三先生他が残したとされる「すぐに役に立つものは、すぐに役に立たなくなる」ということばがある。すぐに役に立つ“もの・人間・本”などいろいろな意味もありすべてではないが、未来への積みかさねの上に成り立つことの大切さは常に考えていなければならない。

10月号にも書いたが、日本診療放射線技師会では診療放射線技師養成の指定規則の改定により、現在の95単位から105単位へと具申した。しかしながら、一部の他職能、さらには全国診療放射線技師教育施設協議会からも、たった2単位増やす（97単位）だけでいいという案が出されたそうだ。他の医療技術職能の多くはそれぞれ大幅な単位upを望んでいるときに、“今の身分があればいい”“育成する労力を増やされたくない”等々の思惑が働くのであろうか、理解に苦しむ動きではある。先述の大隅氏の“基礎研究”に対する思いと同じく、基礎教育においてもすぐに役立つもの（と思われる、もしくは国家試験突破のため）だけで済ませている職能の未来は暗いのである。

法改正による「診療放射線技師の業務拡大」に伴う統一講習会を実施しているが、現在の職務に必要がなくても、診療放射線技師職としての業務範囲拡大であるので、新カリキュラムによる教育修了の学生が卒業してくるまでの間にできるだけ多くの既卒者に速やかに受講していただきたい。診療放射線技師の役割として、検像や読影の補助、いわゆる一次読影の定義や質の担保、更なる業務範囲の拡大や疑義照会などの導入も視野に入れる必要がある。60年以上前にできた診療放射線技師法も現在の高度な医療現場や他職種連携のチーム医療実践現実とのかい離が言われている。診療放射線技師の有効な活用のためにも抜本的な改正が必要である。本年度事業計画「総括」にも、“三年後、四年後のために挑戦することの多くが始まる年である”と記した。三年後の2019年は関東甲信越診療放射線技師学術大会の開催当番であり、四年後の2020年は東京五輪／パラリンピックそして本会創立70周年を迎える。オリンピック開催都市の職能団体として果たすべき役割もある。未来から投影して今何をしておくかを考えて行動する責任があると思っている。

目先の、すぐ役立つことのみに目を向けていてはならない。短期的なことももちろん重要であるが、5年後、10年後、30年後…のために職能団体は存在し、国から与えられた資格を有する者一人一人も同じ使命があると思っている。

そして何よりも、患者さんの安心・安全のために公益社団法人として、首都東京の技師会としての使命をはたす所存である。

「新春のつどい」のご案内

年初めの恒例となっております、本会主催による「新春のつどい」開催のご案内を申し上げます。新春を迎えるにあたり、日頃ご交誼を頂いております放射線関連・学校教育機構・関係諸団体・本技師会各位が一堂に会し、新年の抱負を語り、また、情報交換の場としてご歓談いただき、親交を深めていただきたいと存じます。お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

開催日時：平成29年1月13日(金) 18時30分～20時00分

(受付 18時00分より)

開宴 18時30分～20時00分

開催場所：「ホテルラングウッド」 2階 凤凰の間

荒川区東日暮里5-50-5 Tel 03-3803-1234

JR日暮里駅南口下車 徒歩1分

次 第

- 1) 開会の辞
- 2) 会長挨拶
- 3) 来賓挨拶
- 4) 乾杯
- 5) 懇親（名刺交換）
- 6) 閉会の言葉



会 費：6,000円

新卒かつ新入会員*の方は無料です。奮ってご参加ください。

*新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

問い合わせ：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



第9回MRI集中講習会

下記の要領にて第9回MRI集中講習会を開催いたします。

各講義では専門試験問題の解説も含めて行います。

講義には本講習会用に出版した「MRI集中講習（改定版）」をテキストとして使用します。（参加者には無料配布）
多くの方の参加をお待ちしております。

～プログラム～

14:00～15:15 原理（基礎）および安全管理（専門試験問題含む）

講師：杏林大学医学部付属病院 宮崎 功 氏

15:20～16:20 パルスシーケンスおよび高速撮像法（パラレルイメージング）（専門試験問題含む）

講師：虎の門病院 高橋 順士 氏

16:30～17:30 アーチファクト（専門試験問題含む）

講師：公立福生病院 野中 孝志 氏

17:30～18:30 脂肪抑制（専門試験問題含む）

講師：東京慈恵会医科大学附属第三病院 北川 久 氏

記

日 時：平成29年1月14日（土）14時00分～18時30分（受付開始13時30分）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員3,000円、非会員10,000円（当日徴収）

※講義に使用するテキストはMRI集中講習（改訂版）を使用（東放技配布）

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

定 員：50名（定員になり次第締め切ります）

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育4.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第62回 日暮里塾ワンコインセミナー～入会促進セミナー～ 「学術教育が選んだ発表演題」

恒例となりました「学術教育が選んだ発表演題」です。平成28年度に発表された演題の中から興味深いものを厳選し、再度発表していただきます。研究成果を発表することは、われわれ医療人におかれた責務でもあります。参加できなかった方、参加していたが聞けなかったという方、再度聞きたい方など、多くの方の参加お待ちしております。

さらに毎年この演題群の中から学術奨励賞、新人奨励賞を選出しております。ぜひ参加していただき発表演題のアンケートにご協力をお願ひいたします。

今回は入会促進セミナーということで参加費無料となっております。

1. 当院におけるX線CT検査時のペースメーカー対応について

日本大学医学部附属板橋病院 市川 篤志 氏

2. 乳幼児胸部撮影における小児固定具使用の工夫

公立福生病院 山崎 綾乃 氏

3. 頭部領域におけるSE型radial scan (RADAR-SE) の有用性の検討

東邦大学医療センター大橋病院 南山 諒輔 氏

4. 当院における放射線科疑義照会の取り組みについて (システム構築)

公益財団法人東京都保健医療公社 東部地域病院 今井 貴裕 氏

5. 当施設における被ばく相談の現状と今後の課題

順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター 萩原奈津美 氏

6. 上肢血管閉塞に対するコーンビームCTの有用性

国立国際医療研究センター病院 若松 和行 氏

7. 腰椎MRIにおける側臥位撮像の有用性の検討

東邦大学医療センター大森病院 富永 良英 氏

8. 低管電圧撮影と逐次近似再構成法を利用した3D画像改善の試み

昭和大学江東豊洲病院 平野 高望 氏

9. 散乱X線補正処理を用いた胸部ポータブル撮影における適正EI値の基礎検討

国立がん研究センター中央病院 鳥居 純 氏

記

日 時：平成29年1月19日(木) 19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム (研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択) からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail : gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

会 告

4

平成28年度第5回業務拡大に伴う統一講習会

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

診療放射線技師法が平成26年6月18日に一部改正され、平成27年4月1日施行されました。具体的には、CT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の抜針・止血、下部消化管検査の実施（ネラトンチューブ挿入も含めて）、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入であり、診療放射線技師の業務内容が拡大しました。以上の業務を行うための条件として、医療の安全を担保することが求められています。この業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とし、“業務拡大に伴う統一講習会”と称し、2日間にわたり実施することとしました。

本講習は厚生労働省と公益社団法人日本診療放射線技師会が検討したカリキュラムに従い、都道府県放射線技師会が講習会を運営し、一定レベルの講習会を全ての診療放射線技師が受講できる環境を提供することを目的としています。本会において今年度5回実施予定の5回目として開催致します。

記

第5回

日 時：平成29年1月21日（土）9時20分～17時40分（受付開始：9時00分～）

平成29年1月22日（日）8時30分～17時30分

場 所：首都大学東京 荒川キャンパス
東京都荒川区東尾久7-2-10

ア クセス：日暮里・舎人ライナー 熊野前駅徒歩3分

募 集 人 数：100名

申込み期間：平成28年12月5日～平成29年1月7日

受 講 料：会 員 15,000円、非会員 60,000円

但し、各種講習受講者減免として

会 員 静脈受講者：13,000円、注腸受講者：5,000円、静脈注腸受講者：3,000円

非会員 静脈受講者：50,000円、注腸受講者：35,000円、静脈注腸受講者：15,000円

注）講義は免除対象とするが、実習及び確認試験は免除対象外とする

申込方法：JART情報システム内のイベント申込メニューから申し込むこと

注）東放技事務局および東放技HPからのお申し込みはできません

受講料振込等：申し込み後、日放技より振込み先の案内があります

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません

ア) 講習時間15単位（1単位50分）に対し、欠課の合計時間が45分を超えた場合

イ) 欠課が15分を超えたコマが1つ以上あった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修活動」カウントが付与されます

以上

プログラム

(公社) 東京都診療放射線技師会 実施

1月 21日 (土)

時限	時 間		内 容	
	9:00～ 9:20	20	受付	——
	9:20～ 9:30	10	オリエンテーション	
1	9:30～10:20	50	静脈注射（針刺しは除く）1*	講義
2	10:20～11:10	50	静脈注射（針刺しは除く）2*	講義
3	11:20～12:10	50	静脈注射（針刺しは除く）3*	講義
	12:10～13:10	60	昼休み	
4	13:10～14:00	50	下部消化管 1*	講義
5	14:00～14:50	50	下部消化管 2*	講義
6	15:00～15:50	50	下部消化管 3*	講義
7	15:50～16:40	50	下部消化管 4*	講義
8	16:50～17:40	50	法令	講義

1月 22日 (日)

	8:20～ 8:30	20	受付	——
9	8:30～ 9:20	50	IGRT1	講義
10	9:20～10:10	50	IGRT2	講義
	1 班		2 班	
11	10:20～	60	BLS	実習
	途中で適宜休憩	80	静脈	実習
	～12:50			50
	12:50～13:50	60	昼休み	
	13:50～	50	IGRT3	講義
	途中で適宜休憩	50	下部	実習
	～16:20	50	IGRT	実習
16	16:20～17:10	50	確認試験	
	17:10～17:30	20	修了式	

*受講済みの場合、講義免除対象とする（受講しなくても良い）。ただし実習及び確認試験は免除対象外である。

■ 荒川キャンパス

所在地

〒116-8551 東京都荒川区東尾久7-2-10
Tel 03-3819-1211 (代表)

所属組織

健康福祉学部、人間健康科学研究科

アクセス

日暮里・舎人ライナー「熊野前」駅下車徒歩3分
都電荒川線「熊野前」駅下車徒歩3分
田端駅から都営バス端44系統「北千住駅行」に乗車
「首都大荒川キャンパス前」下車徒歩0分



会 告

5

平成28年度 城西支部研修会

テーマ：「ティーチングファイル－ここがポイント－」 脳外科医が求める画像診断

講 師：東京医科大学病院 脳神経外科 田中 悠二郎先生

本年度は頭部画像を取り上げます。実際に手術・治療をする脳神経外科医が何を見て、何を必要としているのかを教えていただきたいと思います。この領域をCT、MRI画像を中心に解剖や疾病について基礎から学びたいと思います。今回、開催する事によって皆さまが興味を持ち、講習翌日から頭部画像が楽しく見られるように一緒に勉強をしたいと思います。

病院、クリニック、検診施設の方など多くの方々の参加をお待ちしています。

記

日 時：平成29年2月10日（金）19時00分～20時30分（受付開始：18時30分～）

場 所：東京医科大学病院 研究教育棟3階第1講堂

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1

ア クセス：丸の内線西新宿駅より 徒歩1分、JR新宿駅西口より 徒歩11分

受 講 料：診療放射線技師1,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“城西支部”を選択）からお申し込みください。または下記メールアドレスへ、件名『城西支部研修会』にて氏名（ふりがな）、施設名、所属地区、会員（日放技番号）・非会員、返信先メールアドレスを記載の上、送信をお願いします。

問い合わせ：城西支部委員会 E-Mail : shibu_jyousai@tart.jp

第3地区委員長 平瀬繁男

第9地区委員長 飯島利幸

第10地区委員長 澤田恒久

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

*新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

第12地区研修会

テーマ「救急外傷の一般撮影～基礎知識から救急撮影まで～」

講師：武藏村山病院 放射線科 森 剛 技師長

今回の第12地区研修会のテーマは「救急外傷の一般撮影」です。第12地区の中核病院のひとつである、武藏村山病院放射線科技師長にご講義をしていただきます。ひとことに救急外傷といつても歩行や車椅子、ストレッチャーなどで撮影室に来る場合や、高エネルギー外傷で運ばれてくるなど状態はさまざまです。

今回の研修会は、重症な外傷の撮影というよりも、より身近な1次～2次救急撮影を対象にお話をすすめていただきます。さまざまな関節の撮影は何を診ているのか？ どのような状態が脱臼・骨折なのか？ など、一般撮影の基礎知識から救急への応用撮影までを学びます。新人技師はもちろんのこと、ベテラン技師も再確認のために、ぜひご参加ください。お待ちしております。

記

日 時：平成29年1月26日（木）19時00分～20時30分（受付開始：18時30分～）

場 所：東大和病院 本院7階会議室

ア ク セス：西武拝島線 東大和市駅下車 徒歩12分（西武バス「東大和病院前」下車）

受 講 料：診療放射線技師500円、（当日徴収）

新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“12地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：第12地区委員長 鈴木 晋 E-Mail：areal2@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



※新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

お知らせ

2

第16地区勉強会

TART・SART地区合同

テーマ「骨軟部 撮影セミナー2017～初学者からベテランまで抑えておきたい四肢撮影技～」

記

日 時：平成29年2月18日(土) 9時50分～18時00分
場 所：済生会川口総合病院 講堂(B1) 埼玉県川口市西川口5-11-5
交 通：京浜東北線 西川口駅下車西口より 徒歩約8分
受 講 料：2,000円
申込方法：東放技ホームページ(<http://www.tart.jp/>)の参加申し込みフォーム(研修会申し込み先は“16地区”を選択)からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。
問い合わせ：第16地区委員長 工藤年男 E-Mail: areal6@tart.jp
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX: 03-3806-7724

以上

セッション1 10:00 ▶ 11:30	一般演題(各15分)	座長 東京大学病院 国立精神・神経医療研究センター病院 田部井 勝行 釋迦堂 充
①「機能解剖を考える ～手関節～」 ②「過前捻に対する人工関節置換術(THA)術前計画用の 仰臥位正面撮影と腹臥位30°内旋位撮影の比較検討」 ③「上腕骨顆上骨折症例における再撮影の検討」 ④「ACS患者を対象としたアキレス腱の撮影意義と撮影方法について」 ⑤「誰でも簡単スカイラインビューの実践」 ⑥「Dual Energy CTを用いた乾癬性関節炎の画質評価」	上尾中央総合病院 さいたま赤十字病院 埼玉県済生会川口総合病院 所沢ハートセンター 堀ノ内病院 東京慈恵会医科大学附属病院	仲西 一真 大河原 侑 西田 衣里 柴 俊幸 小池 正行 宮崎 健吾
セッション2 11:40 ▶ 12:40	メーカーセッション「(60分)」	
技師講演 12:50 ▶ 13:50	「撮影から考える(診る)疾患、疾患から考える撮影(読影や撮影の工夫・ポイント)」	座長 埼玉医科大学病院 高橋 忍
①「大腿骨頸部骨折の撮影・読影ポイント」 ②「技師として手疾患を撮る(診る)」	深谷赤十字病院 船橋市立医療センター	坂本 里紗 石塚 瞬一
セッション3 14:00 ▶ 15:00	救急撮影セッション	座長 羽生総合病院 大野 渉
セッション4 DR 15:10 ▶ 16:10	「明日から実践！～救急撮影の基礎を学び、疑問を解消～」	
①「外傷診療における救急撮影の基礎」 ②「みんなで創ろう、実践的救急撮影法」	さいたま赤十字病院 上尾中央総合病院	渡部 伸樹 内田 瑛基
教育講演 16:20 ▶ 17:20	DRセッション	座長 東海大学医学部付属八王子病院 由地 良太朗
①「臨床に適した画像処理選択の基本 ～四肢撮影を中心に～」 ②「線量指標 EI の基礎知識 ～整形外科領域での活用法～」	埼玉県済生会川口総合病院 獨協医科大学越谷病院	森 一也 高橋 利聰
特別講演 17:30 ▶ 18:00	「(特別講演)」	座長 埼玉医科大学病院 岡本 康正
①「骨軟部診断情報研究会での症例検討紹介」 ②「各施設一般撮影領域線量比較の取り組み」	昭和大学歯科病院 関東労災病院	石田 秀樹 若林 一成
京都府立医科大学	座長 JR東京総合病院 後藤 太作	竹澤 佳由 先生

※ 駐車券はございませんので 公共の交通機関をご利用ください

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページhttp://www.tart.jp/に各地区の表と地図が掲載されていますので、ぜひ活用ください。

トップページの
ここをクリック



東京都診療放射線技師会からのお知らせ

お知らせ

地区紹介ページ

厚生調査委員会
アンケート結果

2014年度
研修会イベント等の開催予定

会員登録

入会のご案内

入会のご案内

2014/10/17 【お知らせ】平成26年度「電離辺式サ...
2014/10/01 【お知らせ】地区紹介ページを更新しま...

2014/10/17 【研修会】第41回日暮里塾フンコイン...
2014/10/06 【研修会】第4地区研修会（開催日12/4...
2014/10/06 【研修会】第1地区研修会（第2回）（...
2014/10/06 【研修会】第3地区研修会（開催日11/2...
2014/10/06 【研修会】城南支部研修会（開催日11/...
2014/10/06 【研修会】第1地区研修会（第1回）（...
2014/10/06 【研修会】第16地区研修会（TART・S...
2014/10/06 【研修会】第40回日暮里塾フンコイン...
2014/10/06 【研修会】第13地区研修会第39回日暮...
2014/10/06 【研修会】第17回メディカルマネジメ...
2014/10/06 【研修会】第38回日暮里塾フンコイン...
2014/09/06 【研修会】第6地区研修会（開催日10/3...
2014/09/06 【研修会】第53回きめこまかなか生涯教...

なお、毎月月替りで、各地区の特色や活動を紹介しています。
地区表の上の地区名からリンクしていますので、こちらもぜひご覧ください。

第1地区	第5地区	第9地区	第13地区
第2地区	第6地区	第10地区	第14地区
第3地区	第7地区	第11地区	第15地区
第4地区	第8地区	第12地区	第16地区

情報委員会



城東支部	第1地区	千代田区	
	第2地区	中央区	台東区
	第7地区	墨田区	江戸川区
	第14地区	千葉方面地区	江東区
城南支部	第4地区	港区	渋谷区
	第6地区	品川区	大田区
	第11地区	世田谷区	目黒区
	第15地区	神奈川方面地区	神奈川地域
城西支部	第3地区	新宿区	
	第9地区	飯島区	豊島区
	第10地区	練馬区	中野区
多摩支部	第1地区	狛江市	杉並区
	第5地区	昭島市	高田馬場
	第6地区	福生市	西荻窓
	第12地区	狛江方面地区	西東京市
	第13地区	小平市	東久留米市
		武蔵村山市	東大和市
	第13地区	上記、第1-2地区以外の多摩地域	



専門部委員会の力

平成28・29年度 役員紹介

総務委員長（業務執行理事） 東京大学医学部附属病院 鈴木 雄一

本年度より総務委員会委員長、ならびに業務執行理事を仰せつかりました、東京大学医学部附属病院放射線部の鈴木雄一と申します。昨年度までは、第5地区で委員長を務めさせていただいておりました。

総務委員会は、会務運営が円滑に運ぶよう技師会活動の全てに務める、努める委員会であると思っております。総務委員長そして理事として若葉マークがまだ取れませんが、総務委員6名と皆さまの力を借りて、また地区委員長での経験を活かして、会員の皆さまに有意義で充実した技師会活動をしていただけるよう、また参加していただけるように会務運営に努めます。

どうぞよろしくお願ひ致します。



経理委員長（業務執行理事） 立正佼成会附属佼成病院 関 真一

このたび、経理委員長を拝命させていただきました立正佼成会附属佼成病院の関 真一です。どうぞよろしくお願ひいたします。経理というと堅く難しく大変な印象を受けてしまいがちですが、諸先輩方のご指導ご助言をいただきながら、前向きに技師会活動を楽しく有意義に2年間過ごしていきたいと思っております。近年は、会員数がやや増加傾向にあり収益面におきましても増収状況となっています。皆さまからお預かりした貴重な会費を、有効かつ効率的に活用して事業の推進をはかっていく所存であります。また、さまざまな公益活動の実績を数値化していく、明朗さ透明性を確保し年間事業を滞りなく進められるよう努力していきたいと考えています。最後に技師会の運営は、皆さまの会費で支えられておりるのでできる限り早期の納入をお願いいたします。会員の皆さまのご協力をいただき、技師会活動を盛り上げるよう頑張っていきたいと思います。今後ともご支援ご指導よろしくお願ひ申し上げます。



庶務委員長（業務執行理事） 東京臨海病院 野口 幸作

また今期も庶務委員会を担当させていただきます、東京臨海病院の野口と申します。今期で7期目になると思います。今まで同様、会員の入退会管理および会員データ管理を第一業務と据え置き、会務遂行してまいります。入退会処理の複雑さやデータベースの問題もありますので、データベースの修正・更新も視野に入れて、検討していきたいと考えております。



また、日本診療放射線技師会の教育委員として、業務拡大に伴う統一講習会、基礎技術講習会、フレッシュアーズセミナー等講習会の企画、開催しております。こちらも会長を始めとした役員、委員のご協力の下、頑張っていきます。会員の皆さまの積極的な参加をお願い申し上げます。

学術教育委員長（理事） 公立福生病院 市川 重司

このたび3期目となります学術教育の市川 重司（いちかわ しげじ）です。最近の開催で気になることは、質疑応答の際に挙手がなく反応が薄いことです。せっかく参加しているのでもっと積極的に自分のものにして帰っていただきたいと思う場面が多い気がします。これが今の風潮のような気もしますがどうでしょうか。

私は患者が笑顔で病院を出ることを目標にしております。また何かあつたらこの病院に来てこの診療放射線技師に検査・撮影をしてもらおう… という医療者になっていただきたい。そのためには種々な知識・技量を習得する必要があります。そして習得した知識、技量は患者に還元する。そのような視点で事業を立案しています。会員の方々も同じ気持ちだと思います。今後も更なる充実した企画を行っていきますので積極的な参加をお願いいたします。また良い企画は一方通行ではできません。会員皆さまの多様な意見が必要です。忌憚のないご意見で結構ですので“gakujitu@tart.jp”までお願いします。それが患者に還元できる事業につながることと思います。宜しくお願ひします。



厚生調査委員長（理事） 東京都済生会中央病院 江田 哲男

引き続き厚生調査委員会にて理事を務めさせていただいております江田です。現在の委員構成は私を含め7名のスタッフで活動しています。

主な事業は業務実態調査や技師会活動についての調査事業です。とても地味な活動になりますが得られたデータは会員にとって重要な情報になるものと信じ活動しています。

また、年一回開催するボウリング大会を企画・運用もおこなっており、会員同志の「交流」と「絆」を強固なものにすることを目的に開催しています。

多忙な業務の中、委員のスタッフは楽しみながら活動を行い会議終了後の懇親会にて充実した情報交換会をおこなっています。

会員の皆さんにお願いしたいのは入会で終わらずに、一度「技師会活動」に行ってみて経験してみることをお勧めします。きっとそこには沢山の人との交流によって新たな「自分発見」があるはずです。

そういう環境づくりのために今年度も活発に活動していきたいと思いますのでご協力とご参加をよろしくお願ひします。



情報委員長（理事） 本多病院 安宅 里美

前期より引き続き情報委員長を務めております、本多病院の安宅です。本会ホームページの作成・運用等を担当しております。

本会ホームページ <http://www.tart.jp/> では、技師会に関する情報、毎月の会誌発行に合わせて本会主催研修会・イベント情報などを定期更新しております他、関連団体主催研修会の案内やさまざまな記事の掲載を随時行っております。



また、皆さんに興味を持ってもらえるような内容のコンテンツ作成も考案しています。

これからも、ホームページというツールを通じて、皆さんに有益な情報をリアルタイムで提供していくよう日々努めてまいります。

本会ホームページや当委員会に関するご意見・ご要望などございましたら、気軽に情報委員会（E-mail : hp@tart.jp）までお寄せください。今後ともよろしくお願ひいたします。

涉外委員長（理事） 東京通信病院 高野 修彰

前期より引き続き涉外委員長を務めさせていただいております高野です。

涉外委員会では、叙勲をはじめ東京都功労者表彰の推薦手続き、総会での小野賞、功労賞といった表彰の準備が主な活動となります。2年間会務を遂行するなかで、会員皆さまの業績を目の当たりにし、会への思い入れや診療放射線技師という職業への矜持が感じられ、大きな刺激を受けました。



今後も東京都診療放射線技師会会員の活動、業績が正当な評価を受け、診療放射線技師が広く認知されるよう、また技師会活動がさらに円滑に行われるよう努力したいと思います。皆さまのご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

広報委員長（理事） 慶應義塾大学病院 長谷川 雅一

このたび平成21～27年度と長きに渡り委員長を務められた、高坂前委員長より広報委員会を引き継ぐ事になりました長谷川と申します。

高坂前委員長をはじめ11名の委員全員に留任していただき、2名の新委員も加わり総勢14名体制で活動を行ってまいります。



広報委員会の主な活動としましては、各支部管轄で開催される行政・健康まつりや各種関係団体行事、ピンクリボン運動イベントなどに参加し、多くの一般の方々に診療放射線技師の業務内容の理解、放射線と検査の安全性を啓蒙していく広報活動を行なっております。

9月から11月にかけては特にイベントが集中しております。各委員がお揃いのジャンパーを着て、イベントブースでは乳がんのしこり体験をはじめ、骨密度検査、各種検査の説明・アドバイス、被ばく相談、パネル展示、パンフレット・本会会誌の配布などを行っております。

今後も各支部・地区と協力し精力的な活動に取り組んで参りますので、会員の皆さまのご支援とご協力をよろしくお願い致します。

編集委員長（理事） 東京女子医科大学病院 浅沼 雅康



前期より引き続き編集委員長を拝命致しました、東京女子医科大学病院の浅沼雅康です。

編集委員会は昨年ならびに本年度に新委員を加え、総勢7名体制で会誌「東京放射線」の発行を中心とした会務を行っております。来月には本会の学術教育委員会と協力体制を取り、新連載「学術が行く『急性疾患アラカルト』」をスタートするため、連載担当班を結成し準備を進めております。

また会誌「東京放射線」への寄稿やご提案などは常時受け付けておりますので、ご意見などがございましたら気兼ねなくお知らせください。（E-mail : hensyu@tart.jp）

これからも会員の皆さまにより有益な情報をお伝えできるように、委員一同 粉骨碎身の努力を傾注して会務を行っていく所存です。

今後ともご支援、ご指導のほどお願い申し上げます。

VOL.10では頸動脈、VOL.11では乳房（腺）と表在組織を取り上げて執筆頂きました。連載最終である今回も同じく表在の器官である甲状腺について取り上げ、同時に腹部や表在などに使用される超音波所見についても説明していきたいと思います。

1. 甲状腺の発生と位置、解剖

胎生第4週、舌体（前側2/3）と舌根（後側1/3）の接合部にある舌盲孔から甲状腺原基（内胚葉塊）が発生、舌筋などを貫き舌骨、喉頭の前方を下行していきます。この経路は甲状舌管と呼ばれ、通常胎生8～10週で退縮し、退縮せず遺残したものは正中頸囊胞（甲状舌管囊胞）の原因ともなります。また、甲状舌管の遠位部遺残したものは錐体葉（図1）となり、5～8割にみられます。

位置は喉頭隆起（甲状突起）の尾側で、上極が第2気管軟骨、下極が第6気管軟骨の前面にあります。蝶々のような形を呈し、大きさは頭尾径（上～下極間）40、厚さ15、各葉の横径が20mm、重量は20gほどで被膜をもつ内分泌器官です。各部の名称は側葉（右葉、左葉）とその中間の峡部、また峡部から頭側に突出した錐体葉をみることもあります。側葉の上端下端は腎臓や脾臓と同じように上極、下極と呼びます。また、後面の上下左右には米粒大の上皮小体（副甲状腺）が1個ずつ計4個存在します。

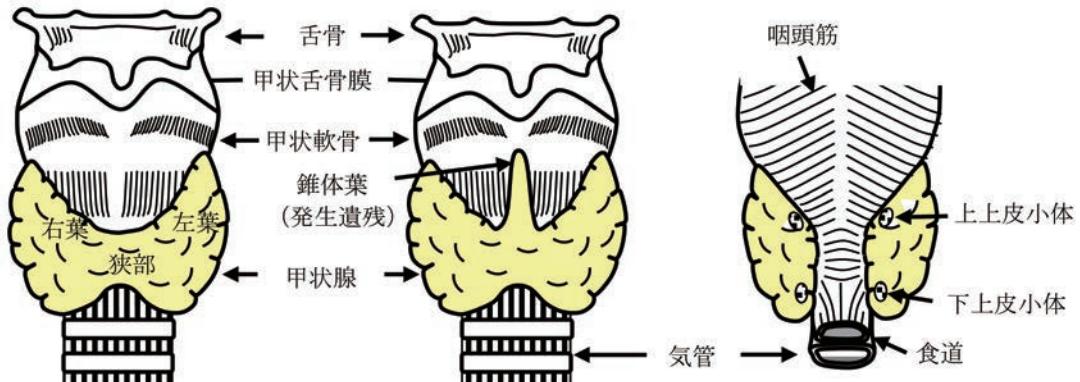


図1 甲状腺とその周辺解剖

周囲の構造物については、前方に前頸筋群（胸骨舌骨筋と胸骨甲状筋、肩甲舌骨筋）や前側方に胸鎖乳突筋、甲状腺狭部後方に気管、側葉の側方に総頸動脈と内頸静脈、左葉後方に食道が位置します（図2）。

血管走行については、動脈が外頸動脈から分岐した『上甲状腺動脈』、鎖骨下動脈からの甲状頸動脈がさらに分岐した『下甲状腺動脈』の2系統、及び10%程度に見られる腕頭動脈や大動脈弓から分岐した『最下甲状腺動脈』から毎分100mlの血液を受けます。静脈は内頸静脈に接合する『上甲状腺静脈』と『中甲状腺静脈』、腕頭靜脈に接合する『下甲状腺静脈』の3系統があり、特に上甲状腺動脈は目につきます（図10）。

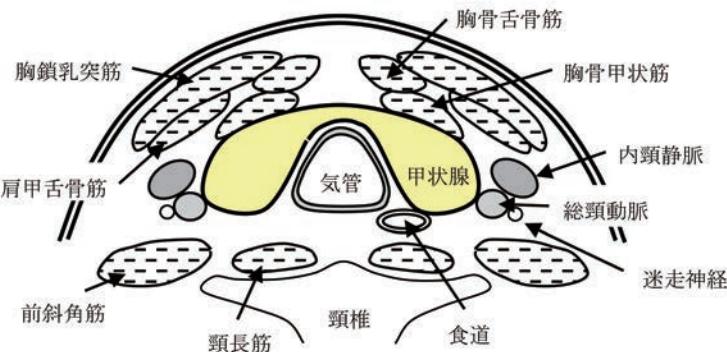


図2 甲状腺と周囲の構造物と超音波画像（右葉中心）

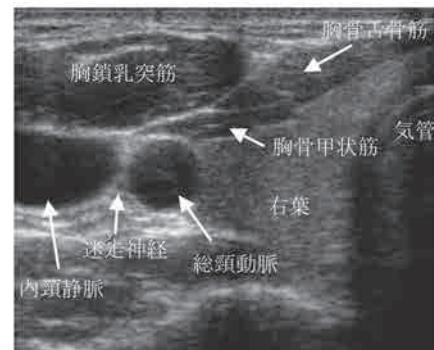


図3 右葉周辺の超音波画像

2. 甲状腺の役割と血液検査

次に内部構造です。濾胞とは細胞による袋状の構造をいいますが、甲状腺の内部も濾胞細胞に取り囲まれた球形構造を呈します（図4）。この中には消化管から吸収されたヨードが糖タンパクと結合したサイログロブリン（コロイド）として貯蔵され、甲状腺ホルモンの原料となって新陳代謝、成長、心機能、体温調節など『生きる』に寄与します。ここで、サイログロブリンがホルモン合成で消費されると空胞となります。

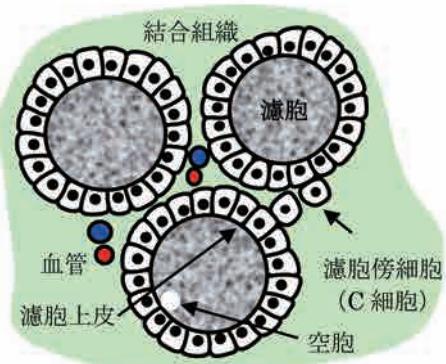


図4 甲状腺の濾胞構造

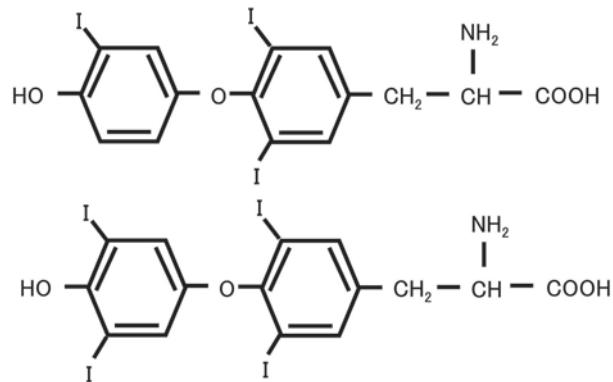


図5 T3、T4の化学構造

図6のように甲状腺ホルモンの分泌は、視床下部からの甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン（TRHまたは甲状腺ホルモン放出因子TSRF）が下垂体前葉からの甲状腺刺激ホルモン（TSH）の放出をコントロールします。寒冷などによっても視床下部からのTRHによってTSHが分泌促進します。次に、TSHは甲状腺に働きかけ、サイログロブリンから糖タンパクを解離したサイロキシン（T4）を分泌、この一部は肝や腎でヨード1個がはずされ、トリヨードサイロニン（T3）となります。この両者が血中に放出され各組織細胞に働きかけます。ここでT3は僅かな量ではありますがホルモンとしての効果はT4より数倍強いといわれます。また、サイロキシンが過剰になるとT3やT4が視床下部や下垂体にフィードバックし、TRHやTSHが減少、サイロキシンの分泌も抑制するなどの調整が行われます。血中には血清タンパク（ほとんどがTBG: thyroxine binding globulin）と結合したホルモンとそうでない遊離性ホルモン（FT3、FT4）とが存在し、生物学的活性はこの遊離型のほうが高く、またT3とT4の活性の比と同様にFT3がFT4の3~5倍高いといわれます。そしてTSHやFT3、FT4は機能亢進症における重要な血

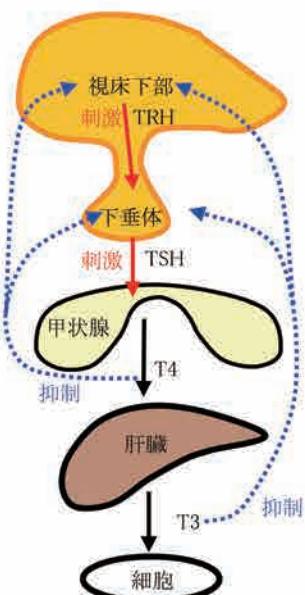


図6 甲状腺ホルモンの分泌と抑制

液検査項目でもあります。

濾胞傍細胞（C細胞）からはカルシトニンが分泌、血中の Ca^{2+} 量を低下させる作用があり、パラソルモン（PTH）とは反する作用となります。また濾胞傍細胞は、髄様癌の発生母地となることが知られています。

上皮小体（副甲状腺）からはパラソルモン（PTH）が分泌され、破骨細胞刺激や Ca の尿排泄抑制、消化管からの Ca 吸収促進によって血中の Ca^{2+} 量を調節します（ Ca^{2+} は神經興奮伝導、筋肉収縮、血液凝固などに関連）。 Ca 量に関連するカルシトニンやパラソルモンの多い少ないは骨粗鬆症や尿路結石などに関係しています。なお、上皮小体（副甲状腺）は通常は描出されず、腫瘍として5mm以上になると描出可能といわれます。

3. 甲状腺の検査手順と超音波解剖

甲状腺疾患は女性に多く、機能亢進症、慢性甲状腺炎（橋本病）、腺腫様甲状腺腫などが知られるなか、甲状腺超音波検査は極低侵襲、リアルタイム性、費用対効果などからファーストチョイスとされます。また、甲状腺の描出そのものは容易ですが、腺腫様甲状腺腫や濾胞腺腫などをはじめ、肝臓の病変でいうと肝臓病や肝細胞癌の所見に類似した紛らわしい所見を呈する例が多く、術者としてはレポートを記入することは容易ではなく、特に腹部エコーの熟練者であっても初めて甲状腺の症例をみると驚くのではないかと思います。

プローブは8~12MHzの高周波リニア型を使用します。また、トラペゾイド（台形）表示は全甲状腺が一画面に表示されやすく（図9）、あれば便利ですがリニア表示での左右分割画面を合成した表示法も深部の分解能では有用で、特に難しいテクニックでもありません（図7）。他に図16・図17左はコンパウンドスキャンによる走査であり視野幅を大きくとりますが走査には慣れが必要です。

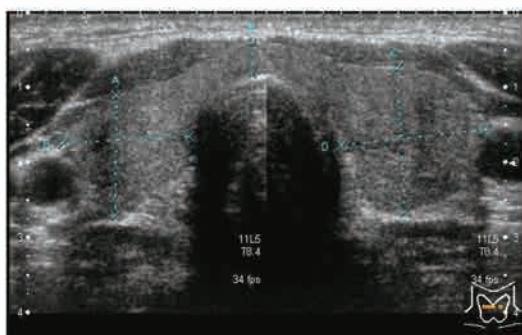


図7 二分割画面での合成

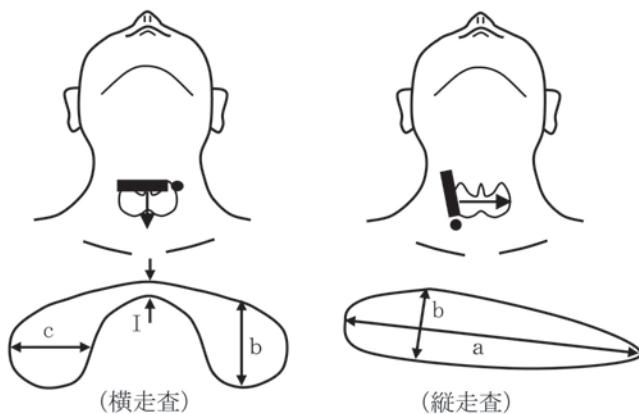


図8 横走査と縦走査

検査体位は仰臥位で枕を使用せず、顎を上げるか背部に枕を入れることで頸部を進展させます。次にアプローチについて、横走査では頸部にプローブを体軸に直交した状態で頭尾方向にスライドさせて甲状腺の水平断面像を描出します（図8左）。この水平断では腹部エコーと同様に仰臥位を尾側からみた方向となります。続いて縦走査では、顔面を非検側に多少傾け、プローブを時計回りに回転させ体軸に平行か又は上極下極間が最長となる『逆ハの字』で走査して各葉の縦断像を得ます（図8右）。縦断像も腹部エコーと同様で右側からみた方向となります。この際、Bモードでは最大面で距離計測を行いますが、縦走査による上～下極間距離は画面からはみ出しが多く、中間付近に何らかの反射媒質やビームを通さない構造物を貼付して行う方法もあります。このように計測し、その平均的な長さと側葉の容量は表1に示すとおりです。なお、容量は橢円体の体積を求める式によります。次に、所見によっては血流イメージや上甲状腺動脈での流速測定を行います。

表1 甲状腺の平均的な大きさ

a	頭尾長径（縦走査断面）	50mm
b	厚さ（横/縦走査断面）	15mm
c	横径（横断面）	20mm
I	峡部厚（横断面）	4mm
側葉体積：F18m、M25mL以下 (= a × b × c × π / 6による)		

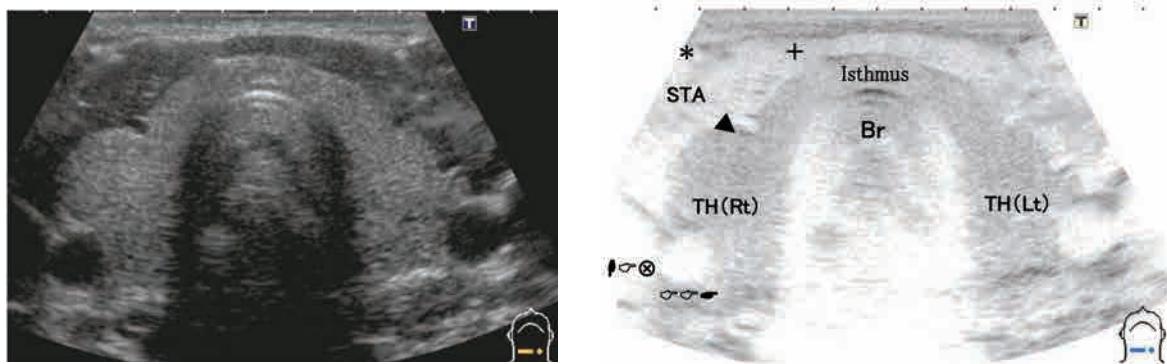


図9 甲状腺横断像と超音波解剖

CCA：総頸動脈 IJV：内頸静脈 STA：上甲状腺動脈 TH(Rt)：甲状腺右葉 TH(Lt)：甲状腺左葉
Isthmus：峡部 Br：気管 *：胸鎖乳突筋 +：前頸筋群(胸骨舌骨筋、胸骨甲状筋)

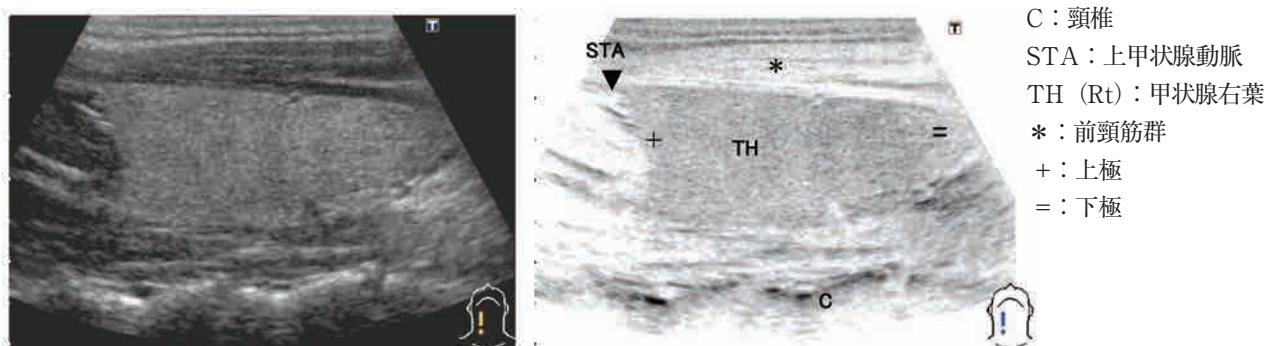


図10 甲状腺縦断像と超音波解剖

4. 一般に用いる超音波所見と甲状腺の症例

(1) 腫瘤の明瞭さ、形、周辺について

しばし甲状腺の内容から脱線して一般的、そして基礎的な超音波所見について説明いたします。

初めに腫瘤の明瞭さとは、周囲の正常組織と腫瘤とのコントラストといえばわかりやすく、コントラストが大きいものについて境界明瞭といいます。境界明瞭であればその腫瘤の形状は円形や橢円形または類円形などの形状があり、全周をなぞることができます。なぞるときにツルンとしたものは辺縁平滑、ギザギザしたものは辺縁粗造とします。また、境界不明瞭であれば不整形となり、全周か一部がなぞれない形をいいます。これら境界がつくる形または境界を総称して輪郭とも呼びます。なお、この用語は腫瘤のみではなく、臓器とそれに接する臓器についても用いられます。

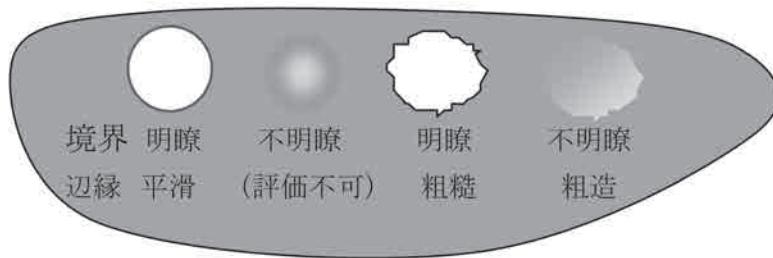


図11 境界と辺縁の表現について

次に腫瘍と接する非腫瘍部の状態について、腫瘍が超音波ビームを吸収するか強い反射体かによってその先にビームの伝播が少ない状態の黒い帯（筋）状に見えるアーチファクトを音響陰影、囊胞など吸収がなく、その先が周囲に比べてビーム伝播が多いことで白い帯状となるアーチファクトを後方エコー増強と呼びます。他に図12のように黒い縁取り（halo）や白い縁取り（marginal strong echo）が周囲に見られ、疾患に特徴的な所見となって、診断の大きな参考となります。



図12 周辺エコー

左からhalo、marginal strong echo、右は乳腺領域でいうhalo（周辺が白い）

（2）腫瘍内部のエコーレベル、エコーパターンとは

次にエコーレベルについて、その部分が感覚的に白ければhyperechoic、中間をisoechoic、黒っぽいのをhypoechoicと表現します。この際、比較する部分や部位は、臓器内の腫瘍であればその周囲（図13）、乳腺であれば皮下脂肪、脂肪肝では腎臓と比較して肝がhyperechoicであれば肝腎コントラスト（mild/moderate/severe）のいずれかの所見、甲状腺実質では前頸筋群や同レベルを呈する頸下腺と比較します（ただし、10歳以下の小児の頸下腺はhypoなことが知られています）。図13にある強エコーstrongechoとは結石や石灰化によって強く反射した部分について用いるものでエコーレベルとは異なります。また、無エコーanechoicとは反射源が内部になく、超音波ビームが素通りしてしまうためです。その成因となる媒質は多くが水で、それを内容する（単純性）囊胞などでおこります。腹水でも無エコーとなりますが、この場合は肝硬変による漏出液に多く、癌性腹膜炎での血性腹水など滲出液では内部に微細な反射源があるため微細点状エコーファインエコーfine echoが見られます。

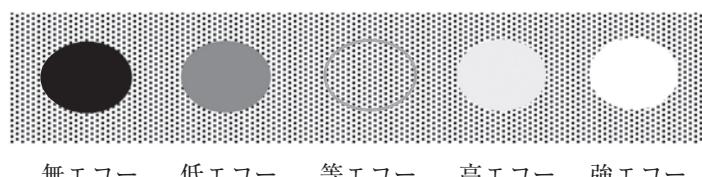


図13 エコーレベル

低、等、高エコーは内部に組織が内容することから充実性パターンsolid patternと呼び、無エコーでは囊胞性パターンcystic pattern、混在する場合を混合性パターンmixed patternと呼びます（図14）。



図14 エコーパターン

肝細胞癌や腎細胞癌などの特徴的サインであるモザイクパターン (mosaic pattern) は分化度が異なる結節が腫瘍内に複数あることで描出されます。結節の中の結節という意味の nodule in nodule の用語も同義語として知られていますが、モザイクパターンは結節の中の結節が偏心性である場合を表し、中心性の場合にブルズアイサイン (bull's eye sign、ダーツの標的の中心) とした解釈もあります。この場合、ブルズアイサインの中心は液状壊死が凝固壊死か無エコーか高エコーと変化します (図15)。

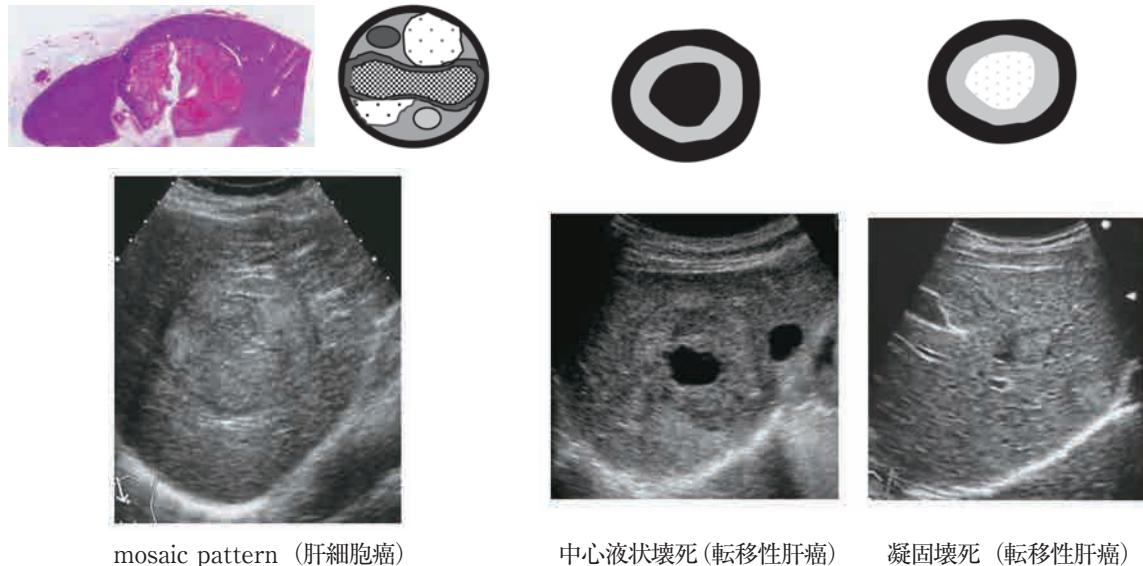


図15 混合性パターンの発展所見

(3) 甲状腺の症例

内容を甲状腺疾患と症例について戻し、甲状腺疾患を結節性病変とびまん性病変に分け、それぞれの代表疾患について説明いたします。日本超音波医学会による腫瘍の診断基準は次のとおりです。

A.結節性病変

はじめに甲状腺結節の診断基準（日本超音波医学会）を提示しますので症例画像と照らし合わせてみてください。

表2 甲状腺結節（腫瘍）超音波診断基準案

	<主>				<副>	
	形状	境界の明瞭性・性状	内部エコー		微細高エコー	境界部低エコー帯
良性所見			エコーレベル	均質性		
整	明瞭平滑	高～低	均質	(-)	整	
悪性所見	不整	不明瞭粗雑	低	不均質	多発	不整無し

①腺腫様甲状腺腫（腺腫様結節）（図16）

多く見積もって甲状腺結節性病変の約40%を占め、多発する結節性病変では最初に考えるべき疾患である。ヨード不足、ホルモンの欠乏、TSH分泌による濾胞の過形成および退行による被膜がないまたは薄い大小の結節を呈する疾患で、片側性の腫大や囊胞変性、大きな石灰化像も特徴です。また、正常組織への移行するような境界不明瞭となる例も多くあります。この中の1/4には癌が合併するのでカラードプラなどで注視しなければなりません。結節が1個などでは腺腫様結節と呼ばれ、被膜を伴ったものは腺腫や癌との鑑別が困難といわれます。



図16 腺腫様甲状腺腫

②濾胞腺腫（図17）

濾胞上皮由来の腺腫で、単発であることが多い。形状は円形・類円形で、症例ごとに厚さは異なるが全周性の被膜をもち、境界部低エコー帯を呈する。内部エコーは均一な高エコーである場合が多いが、充実部分のほとんどが囊胞変性する場合や石灰化を呈することもある。カラードプラでは富血性であることが多い。また、甲状腺ホルモンを放出する機能性腺腫はプランマー病と呼ばれるが、検査データも重要な項目になると思います。

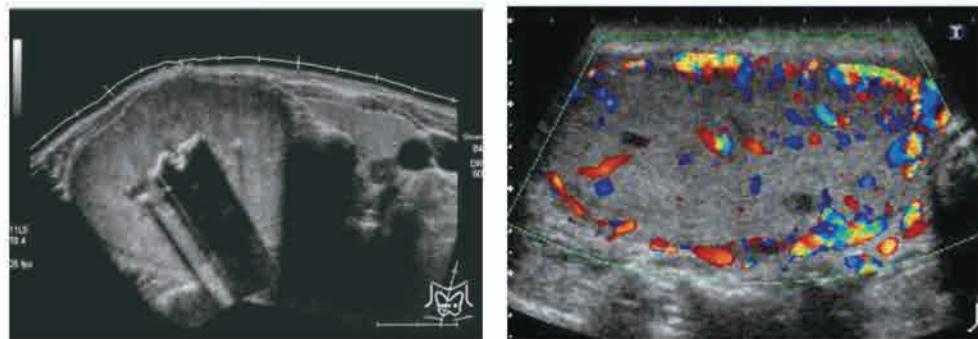


図17 濾胞腺腫

③乳頭癌（図18）

悪性腫瘍は甲状腺腫瘍の20%ほどに見られ、若年者に多く50歳代にピークがあるといわれます。男女比は1:6、未分化癌では1:2とされます。この中で最も多いのは乳頭癌で、甲状腺癌の90%ほどを占めています。乳頭癌は進行が遅く、遠隔転移も少なく生物学的悪性度が低いといわれ、特に1cm以下の微小乳頭癌の多くは潜在癌であり、すぐには切除せずに積極的経過観察を行う傾向にあるようです（CLINICAL CANCER 15 NO. 641）。

乳頭癌の特徴は、不整形、境界不明瞭粗造、strong spotty echoと呼ばれるような微細高エコーが多発、境界部低エコー帯などです。

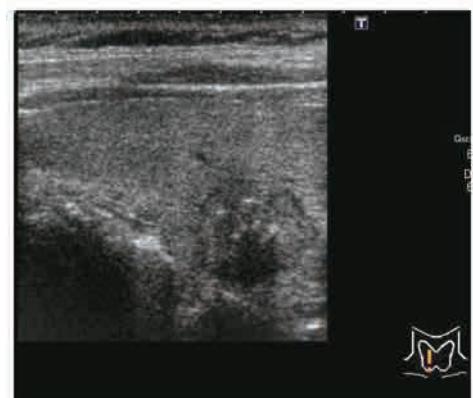


図18 甲状腺癌（乳頭癌）

B.びまん性病変

3疾患を代表して症例を供覧いたしますが、びまん性病変では甲状腺機能に関係することが多く、血液データが重要な項目となりますので表3を参考にして下さい。

表3 びまん性疾患での検査データ比較

バセドウ病	橋本病	亞急性甲状腺炎
FT3、FT4 高値	FT3、FT4 低値	FT3、FT4 高値
TSH 低値	TSH 高値	TSH 低値
FT3/FT4 2.5以上	抗Tg抗体・抗TPO抗体 陽性	¹²³ I 摂取率検査 低値
TSH レセプタ抗体(TSAb) 高値		抗サイログロブリン抗体高値
抗サイログロブリン抗体高値		赤沈亢進、CRP 高値

①バセドウ病（グレーブス病）（図19）

甲状腺機能亢進症の約90%を占めるのがBasedow (Graves) 病で、TSHではなく、TSH受容体抗体 (TB II、TSAb) によって甲状腺ホルモンの分泌が過剰となる自己免疫疾患で、頻脈、眼球突出、甲状腺腫大と呼ばれるMerseburgの三徴を呈すとのことですが、このなかで眼球突出は低率といわれます。甲状腺全体の腫大、濾胞の腫大と増殖がみられ、超音波所見でも腫大、エコーレベルはややhypo～iso、血流に富む。上甲状腺動脈の流速も参考となり、60cm/s以上で甲状腺機能亢進による変化とされます。なお、この疾患はグレーブス（アイルランド）のほうがバセドウ（ドイツ）より5年早く報告していますが、ドイツ医学を導入する国ではバセドウ病が多く用いられています。

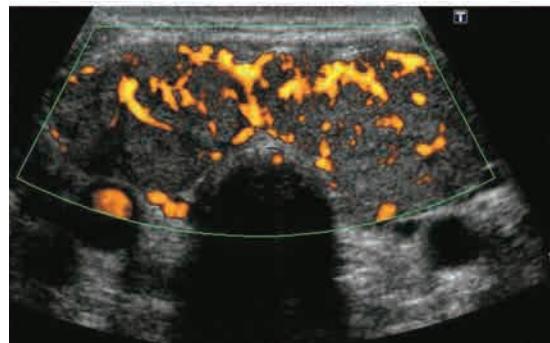


図19 バセドウ病（パワードプラ像）

TSH 0.002 FT3 4.58 FT4 2.35

②橋本病（組織学的には慢性リンパ球性甲状腺炎）（図20）

1912年、橋本策（はかる）により報告された疾患で、中年女性に多い臓器特異的自己免疫疾患です。抗サイログロブリン抗体 (TgAb) や抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体 (TPOAb) など自己抗体が出現して障害を起こします。一般に無症状ですが、甲状腺の腫大、濾胞間のリンパ球浸潤、濾胞の萎縮や破壊、それらによる線維化と機能の低下がみられます。機能低下のため血流はバセドウ病と相反することになります。超音波所見は、びまん性腫大（線維化の進行によっては萎縮）、凹凸、エコーレベル低下、線維化による斑状、乏血性がげられます。

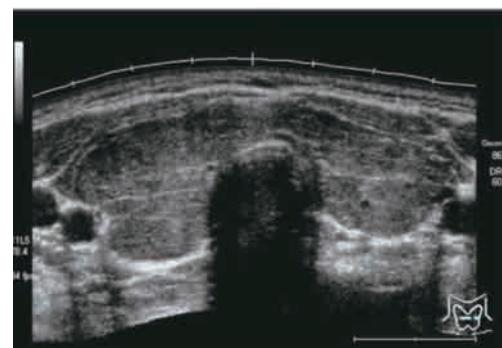


図20 橋本病

TSH 6.218 FT3 2.46 FT4 0.52

抗サイログロブリン抗体509.3

③亜急性甲状腺炎（図21）

原因は不明（説としてウィルス感染）であるが、濾胞の破壊により甲状腺ホルモンが血中に入り機能亢進を一過性に呈します。臨床所見は圧痛（部位が対側に移動するクリーピング）、甲状腺腫大、発熱や倦怠感などです。薬物療法により数か月で治癒するといわれますが、破壊された濾胞の回復までの間は甲状腺機能の低下もみられます。超音波所見は軽度腫大、圧痛部位に一致した不整形な低エコー域の存在、数日後のクリーピングなどです。

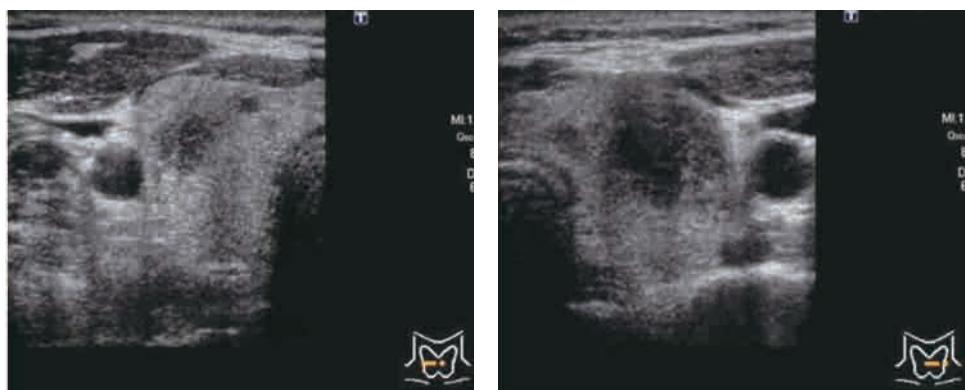


図21 亜急性甲状腺炎 右は左葉へのクリーピング

基礎から始まり、肝・胆・脾・腎・脾・消化管の腹部、頸動脈、乳腺、そして甲状腺について連載してまいりました。本連載ではスルーした一般に行う領域として骨盤臓器、心臓、皮ふなどがあります。この他、運動器、脳動脈、眼球、神経なども検査の対象となります。甲状腺や頸動脈の検査で描出されてくる迷走神経や反回神経も通常は気にせず見ていないと思いますが、見ようと思うと神経が太い人、細い人など見えてきます。つまりいろいろな部位が見えるということです。また今後も装置にいろいろなテクノロジーが搭載され、伸びしろが大きい検査といえます。

超音波画像研究会は平成4年に発足され今日に至っておりますが、現在はいろいろな研究会、講習会、勉強会が開催されており、エコーを勉強する機会は整っております。あとは貴方自身のやる気です。皆さまのご健勝をお祈りし、連載終了といたします。

参考文献

中央医療技術専門学校超音波実習教材（頸動脈・甲状腺・乳腺編） 菅 和雄

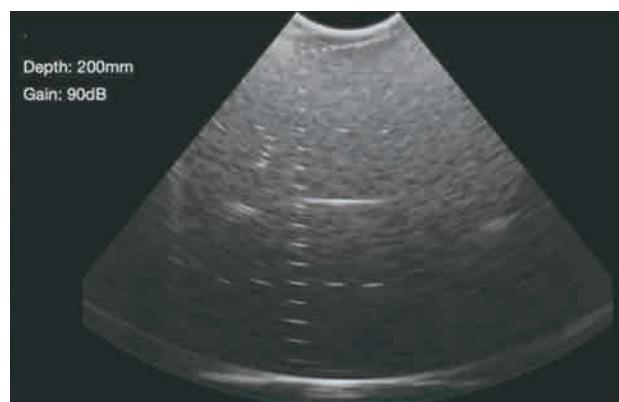
甲状腺・唾液腺アトラス 高梨 昇著 ベクトルコア

よくわかる超音波検査入門講座 佐久間浩・桑島章編集 永井書店

超音波 今むかし

写真は、ある国外メーカーの超音波（診断？）装置です。装置とはいっても、プローブのみでWi-Fiによりアプリインストール済みのiPhoneやiPadなどで画像を観察します。借用する機会を得ましたのでファントムで画像を収集してみましたが、通常の装置とは比較しないほうが良いと思いました。超音波診断装置は聴診器代わりに用いられるほど普及しているという現在ですが、本装置はまさに聴診器代わりとして多様な場面で使用されると思います。ただし、保険請求はせずに聴打診と同レベルに行うのがこのような装置の使用目的ではないかと思います。そうすると、医師がふるい分けまたは疑診したものを私たちがなんらかのモダリティで存在診断、質的診断、確定診断までもっていくデータを提供する機会も増えるものと推察いたします。

（菅和雄）



「荒川クリーンエイド2016」に参加して

東京医科歯科大学医学部附属病院 北野りえ

平成28年10月23日、北区 新荒川大橋下流右岸にて、第5地区の恒例イベントである荒川クリーンエイドに参加しました。

今回初めて参加するので、クリーンエイドって何だろう？と思い荒川クリーンエイドで検索したところ…「クリーンエイド」は“Clean（きれいにする）” + “Aid（助ける）”の造語だそうです。

荒川クリーンエイドは、河川敷のさまざまな場所で、さまざまな人たちがゴミを拾いながら、川のゴミや水質、自然回復などの問題を考えて、自然を取り戻そうとする活動との事でした。

清掃活動は小・中学時代にやった記憶があり、軍手やトング・ゴミ袋等を準備して持参したのですが、

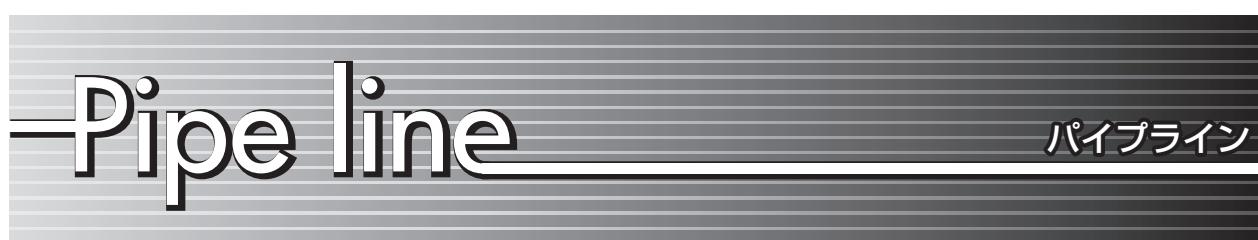
この荒川クリーンエイドは手ぶらでOK。当日行けばすべて貸していただけます。

清掃活動は参加団体ごとにある程度範囲が決められていて、その範囲内でゴミ拾いを行いました。ゴミは、煙草の吸い殻や飴の袋、ペットボトルの蓋などが多くあり、特に階段の脇に集中して落ちていました。拾った後に可燃・不燃等に仕分けをして、清掃活動を終えました。

今回、荒川クリーンエイドに参加し、充実した時間を地域の皆さん、第5地区の診療放射線技師の皆さんと共有することができ、とても貴重な体験になりました。

これからもぜひこの清掃活動に参加していきたいと思います。





超音波スクリーニング研修講演会2016五反田

- 会期：平成28年12月17日（土）午前9時55分～午後5時（開場・受付開始：9時00分～）
- 会場：TOC五反田メッセ（東京都品川区西五反田6-6-19）<http://messe.toc.co.jp/access/>
JR山手線『五反田』西口より徒歩10分
- 参加費：5,000円 事前登録不要
- 主催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク（理事長：桑島 章）
- 共催：日本消化器がん検診学会／日本総合健診医学会
- 後援：日本超音波検査学会／超音波検査法フォーラム／全国労働衛生団体連合会
日本臨床衛生検査技師会／東京都臨床検査技師会／神奈川県臨床検査技師会
日本診療放射線技師会／東京都診療放射線技師会／神奈川県放射線技師会
- 問合せ：E-mail：us-net@pl-tokyo-kenkan.gr.jp（事務局）

プログラム テーマ『超音波所見を極める』

- | | |
|-------------|-------------------------------------|
| 09：55～ | 開会の辞 理事長 桑島 章 |
| 10：00～10：45 | 『肝臓』 講師：小川 真広（日本大学病院） |
| 11：00～11：45 | 『胆道』 講師：関口 隆三（東邦大学医療センター大橋病院） |
| 12：15～13：00 | ランチョンセミナー『超音波画像と病理』 講師：市原 真（札幌厚生病院） |
| 13：15～14：00 | 『乳腺』 講師：堀井 理恵（がん研有明病院） |
| 14：15～15：00 | 『腹部血管病変』 講師：平井 都始子（奈良県立医科大学附属病院） |
| 15：15～16：00 | 『腎・膀胱』 講師：森 秀明（杏林大学医学部付属病院） |
| 16：15～17：00 | 『脾臓』 講師：岡庭 信司（飯田市立病院） |
| 17：00 | 閉会の辞 副理事長 関口 隆三 |

- *超音波検査士資格更新の5点が付与されます。
- *ランチョンセミナーで昼食（900食）を用意しています。
- *超音波関連の書籍展示販売を行います。
- *詳細はホームページをご確認ください。（超音波スクリーニングネットワークで検索）
- *携帯電話用QRコード（対応機種で地図を表示できます）



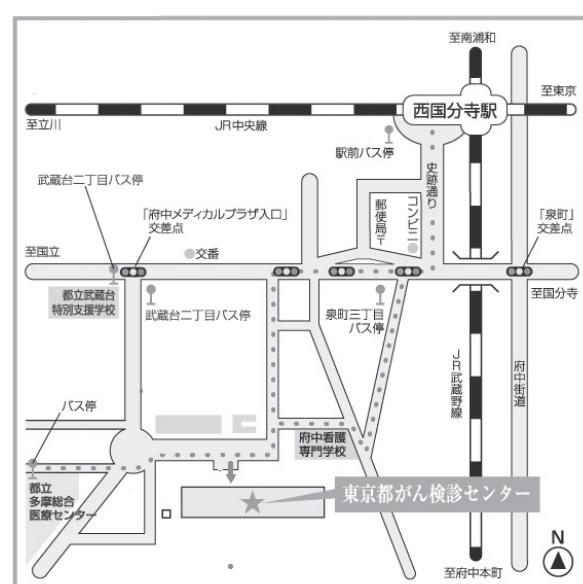
平成28年度 東京都がん検診センター
マンモグラフィ研修会(ポジショニング入門)

マンモグラフィ検査に携わって間もない方、基礎から学びたい方を対象に、マンモグラフィ撮影技術に関する講義と実際に装置を使用しての実習を行います。

- 1 対象： 診療放射線技師
- 2 実施日： 第5回 平成28年12月8日（木） 13:25～17:00
第6回 平成28年12月9日（金） 13:25～17:00
※2回とも同じ内容です
- 3 内容： 講義『ポジショニング』
グループ実習
- 4 会場： 東京都がん検診センター 2階研修室（下図参照）
- 5 募集人数： 各回 先着30名程度
- 6 受講料： 3,000円（当日、お持ちください）
- 7 持ち物： 筆記用具
- 8 申込方法：
 - ①メールアドレスをお持ちの方
当センターホームページ（講習会・研修希望の方へ）から「インターネット予約」にてお申込みください。
URL: <http://www.tokyo-cdc.jp/kousyuu/kensyuu/asp.html>
 - ②メールアドレスをお持ちでない方
申込書をFAXにて下記までお送りください。
FAXでお申込みいただいた方全員に、受講の可否をご連絡いたします。
- 9 申込み及びお問合せ先
(公財) 東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 研修担当 藤澤
〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2
TEL:042-327-0201（代） FAX:042-327-0297
E-mail: togan@tokyo-cdc.jp URL: <http://www.tokyo-cdc.jp/>

＜研修会場案内図＞

- JR中央線・武蔵野線「西国分寺駅」
徒歩 15 分
西国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
- JR中央線「国分寺駅」
国分寺駅南口 「総合医療センター」行バス 終点下車
- JR中央線「国立駅」
国立駅南口 「府中駅」行バス 総合医療センター下車
- 京王線「府中駅」
「国立駅」行バス 総合医療センター下車



*この研修会は日本乳がん検診精度管理中央機構の講習会ではありません。

平成28年度 東京都がん検診センター
マンモグラフィ研修会 ~ポジショニング入門~
受講申請書

参加希望日に○をしてください。

() 第5回 平成28年12月8日(木) 13:25~17:00

() 第6回 平成28年12月9日(金) 13:25~17:00

ふりがな
氏名 _____ 性別 男・女

施設名 _____

住所 _____

電話番号 _____

受講可否連絡先 _____
(FAX)

マンモ経験年数 _____

マンモ撮影人数 _____ 人/週

FAXでお申込みいただいた方全員に、受講の可否をご連絡いたします



日本医用画像管理学会 第9回フィルムレスセミナー

平成29年1月、日本医用画像管理学会主催「フィルムレスセミナー」を開催します。
今回は、熊本地震の経験から「今必要な災害対策」をテーマとしたセッションと「医療安全への取り組み」を新たなセッションとして追加致しました。
多数の皆さまのご参加をお願い致します。

開催日時：平成29年1月7日（土）～9日（月・祝）

申し込み：日本医用画像管理学会ホームページより <http://www.jsmim.jp>

申込期間：平成28年11月7日（月）～12月22日（木）（定員に達し次第終了する場合があります）

開催場所：東京大学医学部附属病院 大会議室（入院棟A 15階）

1月7日（土） 午後：①ガイドライン ②DICOM概論 ③IHE・JJ1017 ④システム連携

1月8日（日） 午前：⑤院内LAN ⑥可搬媒体 ⑦仮想化技術

午後：⑧デジタル画像評価 ⑨外部保管・遠隔医療 ⑩セキュリティー対策
⑪テーマディスカッション（今必要な災害対策）

1月9日（月・祝） 午前：⑫医用画像表示装置 ⑬治療部門の標準化 ⑭障害対策

午後：⑮線量管理 ⑯医療安全への取り組み

その他：参加費・各種ポイントなどは、日本医用画像管理学会ホームページでご確認ください。

会員動向

平成28年1~10月期

年月	総会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
平成28年1月	2,154	5	0	0	4
平成28年2月	2,156	8	5	1	10
平成28年3月	2,136	3	7	2	28
平成28年4月	2,146	12	4	1	5
平成28年5月	2,176	34	2	3	3
平成28年6月	2,214	38	2	0	2
平成28年7月	2,242	29	0	1	0
平成28年8月	2,223	11	1	0	31
平成28年9月	2,251	30	2	2	2
平成28年10月	2,272	20	2	0	1

イエローケーキ

くせになる「達成感」

洋裁＆和小物制作の仕事をしている母の影響を受け、幼いころから人形作り、洋裁、編み物刺繡などさまざまな手芸に慣れ親しんできた。

現在は主に、四季折々の情景をテーマにしたミニチュア制作を趣味にしている。

数年前になるが、突然母が作品展を行う！ と言ってきた。そして、展示スペースが埋まらないから私の作品も置きたいと言う。

会場は新潟市郊外の小さな美術館なので、展示スペースも小さいのだが、なにしろ私の作品はミニチュアなため数が必要になる。開催時期は12月、母のメイン展示品は“つるし雛”なので、クリスマスとお雛さまのミニチュアを合わせて150個ほど作った。

8月から準備に入り、まずデザインを考えるところから始めた。真夏に真冬のクリスマスの情景はなかなかイメージできず、オーストラリアのクリスマスみたいに「サーフィンでやってくるサンタ」くらいしか頭に浮かばない。お雛さまのデザインも「赤を基調としたきらびやかなお人形たち」は、暑苦しくて考えたくないえらく苦労した。

なんとかデザインを考えて作り始める。大まかな形や骨組みは主に粘土や木を使う。夏は粘土の乾きが早く助かるし、木の接着に使う木工ボンドも早く乾くので助かる。中に入れる小物の材料は粘土・木・紙・布・ビーズ・ワイヤーなどいろいろだが、全部小さいものなので、エアコンは風で飛んで行ってしまうためできるだけ控える。特にお雛さまを作るときにたくさん使う和紙は、ちょっとした鼻息でも飛んで行ってしまうのでマスク必須で作業する。なので、よけい暑い！。

苦行の連続みたいな書き方になったが、好きなことをしているので苦労も喜びみたいなもの。なんとか予定の150個を作り終えたときは、やり遂げた喜びで、大げさだが涙が出そうになった。

作品展は思ったよりもたくさんの人を見てもらえ、地元の新聞・テレビでも報道された。会の終わりに友人から花束をもらった母はとても満足そうだった。

あのときの感動が忘れられないようで、母が先日電話で「また来年あたり作品展を行おうか？」という話をしてきた。いまからテーマを決めるという。

来年また親子で最高の時間を味わえるのを、いまから待ち遠しく思う。

shak



News

12月号

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

理事会定数確認

出席：18名、欠席：2名

石田副会長

理事会の開催に先立ちまして、関理事のお母様が逝去されましたのでご冥福を祈り、慎んで黙祷を捧げたいと思います。

会長挨拶

皆さま、本日も第7回理事会にお集まりいただきましてありがとうございます。9月より秋のシーズンが始まり、第32回診療放射線技師学術大会は終わりましたが、これから本会イベントは、まだまだ続きます。そして年末には「役員研修会」、年明けには「新春のつどい」と大きなイベントが控えていますので、皆さまのご協力をお願いします。また、今月は、中間監査があります。上半期の活動状況、実績、進捗などを監事の先生に審査していただくのと同時に、皆さまには来年度の事業計画の策定をお願い致します。

報告事項

1) 会長

前回の理事会でもお話ししましたが、9月2日に鈴鹿医療科学大学で開催された中村實元日本診療放射線技師会会長のお別れの会に出席してきました。古くからの役員の方をはじめ、全国から多くの方が参列されていました。

先週土曜日に開催された日本診療放射線技師会の第4回理事会の報告として、中澤会長の3つのお話の要約を報

日 時：平成28年10月6日(木)

午後6時45分～午後7時45分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

出席理事：篠原健一、白木 尚、石田秀樹、野口幸作、
浅沼雅康、市川重司、江田哲男、長谷川雅一、
鈴木雄一、安宅里美、斎藤謙一、竹安直行、
平瀬繁男、高橋克行、市川篤志、崎浜秀幸、
原子満、工藤年男

出席監事：葛西一隆

指名出席者：関谷 薫（第2地区委員長）、稻毛秀一（第5地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、鎌田 修（第8地区委員長）、千葉利昭（第11地区委員長）、鈴木 晋（第12地区委員長）、宮谷勝巳（第14地区委員長）、渡辺靖志（SR推進委員長）横田 光（経理委員）、大脇由樹（総務委員）、雨宮広明（総務委員）、河内康志（総務委員）

欠席理事：高野修彰、関 真一

議 長：篠原健一（会長）

司 会：石田秀樹（副会長）

議事録作成：河内康志

告致します。まず、1つ目は、第32回診療放射線技師学術大会が皆さまのご協力により成功した事に対する感謝と御礼、それと共に今後も各地で開催致しますので、よろしくお願い致しますという事でした。それから2つ目は、東海地区で専門学校の設立の話が出ています。以前にも岐阜県で専門学校設立の話がありましたが、日本診療放射線技師会では、四年制大学以上の教育が必要であると考えていますので計画の見直しを要求していきます。また、日本診療放射線技師会では、現行の95単位から105単位までの引き上げや指定規則を変更するための活動を行っていますので、ご理解ご協力お願いしますという事が2つ目のお話でした。3つ目は、この時期ですので平成29年度の事業計画の策定のお願いでした。本年度前半の活動の進捗をチェックし、次年度の活動計画に繋げてほしい、という事でした。議事の1つに学術大会の候補地の件がありました。第34回までの候補地は来年の北海道の函館、再来年の山口県と決まっていましたが、その翌年の2019年、第35回の候補地に埼玉県が立候補した事をご報告します。

2) 副会長

白木副会長

第32回診療放射線技師学術大会開催時の9月17日に、篠原会長の代理として全国会長会議へ出席しました。その時の報告をさせていただきます。まず、3つのお話がありました。1つ目が、業務拡大に伴う統一講習会受講者の推進のお願いでした。篠原会長からも何回かご報告がありましたが、平成28年度の目標が1万人と掲げられています。9月3日現在で全診療放射線技師数が52,315人になり、東京では5,970人で会員が2,112人となります。受講率は非会員を含めると6.4%、会員のみでは17.4%で受講者384人となります。受講者384人は全国で見ると一

番多いのですが、受講率としてはあまり良くありません。再度、推進をお願いしますとの事でした。また、業務拡大に伴う統一講習会の資料を配布しましたので、こちらを活用していただき、参加の呼びかけをお願いします。2つ目は、第32回診療放射線技師学術大会の会長講演でも大変、熱く語られていました診療放射線技師の教育単位数になります。中澤会長も参加されている全国協議会に現在の95単位から106単位までの引き上げ方針を出しましたが、群馬大学の遠藤教授より97単位との方針が提出されました。15年間で2単位しか増えない職種は他ではありえなく、日本診療放射線技師会でも106単位の必要性を訴えていきます。との事でした。3つ目は、先程、篠原会長からも報告がありましたが、第32回診療放射線技師学術大会で土曜日現在の参加者が2,266名で、事前登録されてまだ、登録されていない方が240名いますので、目標の2,500名は達成しそうですとの報告がありました。会長会議の内容につきましては、最初に統一講習会の進捗状況の説明がありまして、次に定款諸規定の修正について説明がありました。あとは、都道府県別、会員組織率について、組織率を上げていかないと国への意見が届かない現状があります。現在、組織率80%を超える県が6県ありますが、東京の組織率は35.4%と会員数が多いが組織率は低いです。他の大都市では福岡県で74.6%、愛知県で67.9%となっていますので、東京都の組織率を上げるため会員数を増やしていくべきだと思っております。その他には、来年、70周年記念式典を開催する予定になっています。

石田副会長

・活動報告書に追加なし

3) 業務執行理事

・総務：鈴木理事

・活動報告書に追加なし

・経理：関理事

・活動報告書に追加なし

・庶務：野口理事

・活動報告書に追加なし

4) 専門部委員会

・厚生調査委員会：江田委員長

東京都診療放射線技師会から19,009円を日本診療放射線技師会に熊本地震の義援金として振り込みました。総額が847,986円になり、すべて熊本県の放射線技師会にお届けましたとのお礼の手紙が届いております。

・涉外委員会：代）鈴木総務委員長

東京都の功労者表彰に内田病院の平林さんが受賞したと報告いただいております。

・その他、活動報告書に追加なし。

5) 支部・地区委員会

・活動報告書に追加なし。

6) 特別委員会等

・定款諸規程等検討委員会

現在、月2回のペースで開催しております。各地区に意見聴取させていただきました。ご協力ありがとうございました。

・その他、活動報告書に追加なし。

7) その他・研修センター申請・事業報告

・活動報告書に追加なし。

議 事

1) 事業申請について

①荒川河川敷清掃活動

テーマ：地球環境保全活動 荒川河川敷清掃活動
「荒川クリーンエイド2016」

日時：平成28年10月23日（日）10：00～13：00

場所：北区 荒川岩淵閑緑地

上記開催について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

②第61回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ：明日から役立つ知識 -MRCP-

日時：平成28年11月30日（水）19：00～20：30

場所：東放技研修センター

会誌に掲載されるのは、11月号のみとなります。よろしくお願いします。

上記開催について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

③第9回MRI集中講習会

テーマ：MRI専門試験対策講座

日時：平成29年1月14日（土）14：00～18：30

場所：東放技研修センター

上記開催について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

④平成28年度第12地区研修会

テーマ：救急外傷の一般撮影（仮）

日時：平成29年1月26日（木）19：00～20：30

場所：東大和病院 7階会議室

上記開催について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

⑤平成28年度城西支部研修会

テーマ：脳外科医が求める放射線画像

日時：平成29年2月10日（金）19：00～20：30

場所：東京医科大学病院 研究教育棟3階第1講堂

上記開催について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

2) 委員の新任・変更・退任について

・第9地区委員

新任 光武 秀悦（所属：帝京大学医学部附属病院 中央放射線部）

・第15地区委員

退任 佐々木 武弘（所属：昭和大学横浜北部病院 放射線部）

- (変更) ↓
新任 岡田 圭伍 (所属:昭和大学横浜北部病院 放射線部)
・第16地区委員
退任 大平 隆生 (所属:みさと健和病院)
(変更) ↓
新任 山本 与志樹 (所属:みさと健和病院)
上記、新任・変更・退任について審議した。
【承認:18名、保留:0名、否認0名】
3) 新入退会について
9月:新入会30名、転入2名、転出2名、退会2名
上記、新入退会について審議した。
【承認:18名、保留:0名、否認0名】

地区質問、意見

【第2地区】

各イベント委嘱状の発行について
補足~関谷委員長への具体的な内容希望への回答~
例年通り、10月23日日曜日開催の中央区健康福祉まつりが、前回の理事会で承認されたので、地区委員会にて、乳房のしこり体験を、担当していただける技師を募りました。
毎年、参加していただける技師の選出が、芳しくない状況です。
MMGの検査受診を促すために実施しているので、このような啓蒙活動を実施する事を、所属する施設長にアピールして、実行委員に参加してもらったほうがいいのでは?

以上のような話合いになりました。
今回の件に限らず、イベントを開催する際に、実行委員をお願いする会長名の依頼状を、承認された理事会でいたたく事は可能かの問い合わせになります。

野口庶務委員長:今まで、学術以外では依頼状を発行したという記憶がありませんが、今回の地区提案事項で必要性が把握できましたので、総務より配信した資料に「イベントにおける実行委員選出のお願い」という文面を作成しました。依頼先や依頼者の把握は困難なため、空欄にしてありますので各地区委員より必要事項を記載して使用していただきたい。

篠原会長:今回は、「イベントにおける実行委員選出のお願い」を使い易くするため、わざわざ公印をもらわなくとも良いように公印省略とさせていただきます。

関谷地区委員長:地区に持ち帰り、使用させていただきます。

【第4地区】

①地区紹介ページがあるが、こちらの公開年月日が2014年となっているので更新を行ってみてはどうでしょうか?
また、専門部も含めてはどうでしょうか? 内容ですが、統一した項目を作りて更新してみるもの一つの案として良いと思う。

安宅情報委員長:各地区委員長にお願いして、地区の紹介

と地区委員会の活動などをまとめて月替わりで掲載していきました。全地区の情報が集まり、削除するのはもったいないと思い残しております。2年前のデータなので、更新が必要な個所もあるかと思いますので、各地区でご確認いただき更新個所があれば情報委員会まで、新しいデータをお送りください。随時、新しいものに差し替えていきます。このように、更新を進めていきたいと思っております。また、専門部も含めてという点は、これからの検討課題とさせていただきます。

②地区委員会の開催ですが、年6回と決めず開催回数を流動的に開催しても良いでしょうか?

上限は必要だと思いますが、年間計画を立てたあと、勉強会や研修会を行う開催月など臨時に集まる必要があるため。

篠原会長:以前、財政的な理由で地区委員長の理事会参加は隔月とさせていただきました。それに伴い地区委員会も2か月に1回で年6回とさせていただいた経緯があります。その後、現在のように地区委員長も毎回、参加していただこうようになりました。その際に、年6回の制約を外しております。確かに上限も必要かとは思いますが、8回・9回といった範囲内でしたら必要に応じて開催していただいて結構です。

【第7地区】

地区よりホームページに関して、スマートフォン対応にしてもらえると見やすくて良いのではないかという声がありましたので報告致します。

安宅情報委員長:情報委員会でも以前、スマートフォン用のホームページについて検討致しました。その時は、今のホームページを手直ししてスマートフォン用にする事はできず、最初から作り直す事になり現実的ではなく断念しています。現状、スマートフォン上で拡大やスクロールなどができるので、そちらで対応していただきたいのですが、具体的にどのような部分をスマートフォン対応にしたいのでしょうか。

富丸地区委員長:トップページだけでも、スマートフォン対応になると見やすくなり、研修会などの他のページにもいきやすくなるのではと思っています。

安宅情報委員長:トップページが一番、大変です。構成が複雑なので難しいです。拡大やスクロールをスマートフォン上で操作して対応いただきたいと思います。これからの情報委員会の検討事項にしていきたいと思います。

篠原会長:情報委員会もわれわれと同じ診療放射線技師で専門家ではありません。当然ですが、通常の仕事もあり、マンパワーの問題もあります。その辺を踏まえるとなかなか難しいという事をご理解いただきたい。

【第11地区】

最近の学生は手軽なSNSを情報取得ツールとしており、ホームページにアクセスする事が少ないと診療放射線技師養成学校関係者から意見が寄せられました。現在、東

放技ではホームページによる情報提供を行っていますが、今後フェイスブックやツイッターなどのSNSを活用する事は検討されていますでしょうか？

千葉地区委員長：スマートフォン対応のホームページにするよりフェイスブックなどのSNSの方が管理、運用の負担が少なくて済むのではないかという意見をいただきました。

安宅情報委員長：先程、会長がお話ししましたが、現在、情報委員会は6名の委員で仕事の合間にホームページの更新やコンテンツを作成している状況です。こちらは継続していかなければなりません。SNSの運用は地区にお任せできますが、管理は情報委員会でおこなう事になりますので、その負担が現状では厳しいのかなと思っております。

連絡事項

1) 広報委員会：長谷川委員長

- ・10月から11月にかけて各種イベントが開催されます。東放技の活動をアピールするためにも、会員皆さまのご参加とご協力をよろしくお願い致します。

2) 学術・教育委員会：市川委員長

- ・先月もお知らせしましたが、10月8日（土）に第16回の合同学術講演会を開催致します。講演会後は情報交換会を行う予定となっております。現在、東京支部が15名ほどで専門部から5名ほどとなっています。東京都診療放射線技師会の団結力を見せるためにも、ご協力お願いします。参加できる方は、当日でも結構ですのでご連絡ください。

3) 編集委員会：浅沼委員長

- ・皆さまにお願いしていました委員長紹介の記事が締め切りを過ぎても集まっておりません。全て揃ってから掲載したいと思っていますので、まだ、原稿を提出していない方は、早急にお願いします。

4) 経理委員会：代）野口庶務委員長

- ・東放技研修センターのカギの運用についてセキュリティを含めて効率のいい方法を検討しています。決定しましたら報告致します。

竹安地区委員長：カギの運用とはどのような事ですか？

誰に配るのか？ といった事ですか。

野口委員長：例えばカードキーや指紋認証などを取り入れる事で、研修会などで使用の際にも、うまく運用できるように考えています。

5) 総務委員会：鈴木委員長

- ・9月末までに上半期の事業報告をあげていただき、ありがとうございました。無事、中間監査の資料を作成し始めました。お礼申し上げます。

- ・箱根の役員研修会への参加者リストを資料として配布致しました。宿の都合もありますので来月の理事会までに出欠を入力して返信ください。

・新春のつどいの案内も配布致しました。皆さま、お声掛けいただき、ご参加お願い致します。

篠原会長：毎年お願いしていますが、業界関係者も多く来ますので最低でも各地区的地区委員の人数以上のご参集をお願い致します。まだ、3ヶ月ありますので、ご協力よろしくお願い致します。

- ・事業計画申請書と事業実施報告書のひな形をWordからExcelに変更致しました。Excelにする事により、同じ内容の部分の入力の手間が省ける事と金額などの自動計算が可能となり計算間違えを無くす事ができる利点があります。また、申請書、報告書の2つのデータを1つのファイルで管理できるので楽になると思います。次回からの申請書および報告書はExcelのフォーマットを使用してください。使用方法が分からぬ場合はお問合せください。また、今後も皆さまが使いやすいように改良していきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

- ・委員の新任・変更・退任申請書も同様にひな形をExcelで作成しました。次回からはこちらのフォーマットを使用してください。また、委員の名簿も赤字で修正し、総務委員会まで申請書と名簿を提出してください。その後、議事に上げるといった流れにしたいと思います。

その他

野口日放技教育委員：日本診療放射線技師会の教育委員からのお話になります。先程、白木副会長からお話がありました統一講習会ですが、駒沢大学で11月19、20日の募集をかけています。昨日の段階で32名の応募がありました。大変、大事ですので、できるだけ多くの方に受講していただき広報よろしくお願い致します。

篠原会長：冒頭に、関理事のお母様が亡くなられて黙祷を捧げましたが、会長裁量で供花と弔電を出させていただきました。

平瀬地区委員長：11月2日（水）に東放技研修センターで東京CTテクノロジーセミナーがあります。開錠をお願い致します。

今後の予定について

予定表（添付ファイル）の確認をお願いします。

以上

お詫びと訂正

「東京放射線」2016年11月号の「第67回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会(抄)」の一部において、誤りがありましたので下記のとおり訂正させていただきます。

13ページ左側下から2行目

(誤) 「第12地区坂知靖さん」
(正) 「第12地区高坂知靖さん」

13ページ右側12行目

(誤) 「望さん」
(正) 「濱崎望さん」

14ページ左上写真

(誤) 「新人奨励賞土屋会員」
(正) 「新人奨励賞土谷会員」

関係各位にご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

編集委員会

診療放射線学科専任教員募集

東京電子専門学校

医療・コンピュータ・電子の総合学園、創立70年の伝統と4省認定校

募集対象者：診療放射線技師(臨床実務経験5年以上)、教育経験あればなお可

募集人員：若干名

学校名：東京電子専門学校

住所：〒170-8418 東京都豊島区東池袋3丁目6番1号

待遇：経歴、資格、前給等を考慮して本校規定により優遇

賞与(昨年度実績5.45月)、交通費支給

勤務・休日：9:00～17:00(実動7時間)、週休2日(土日祭休)休出は代休有、半日有給制度有

社会保険：社会保険完備(私学共済等)

宿舎の有無：なし

応募方法：履歴書(写)、職務経歴書、資格者証のコピー(必要なもののみ)、通勤可能な方、担当できる教科(可能であればお知らせください)

担当者：脇坂 哲夫 E-mail : saiyo@tokyo-ec.ac.jp

TEL : 03(3982)3131(大代表) FAX : 03(3980)6404

平成28・29年度公益社団法人東京都診療放射線技師会役員名簿

理事・監事

役職	氏名	勤務先
代表理事(会長)	篠原 健一	河北総合病院
理事(副会長)	白木 尚	東京大学医学部附属病院
理事(副会長)	石田 秀樹	昭和大学歯科病院
業務執行理事	鈴木 雄一	東京大学医学部附属病院
業務執行理事	閑 真一	立正佼成会附属佼成病院
業務執行理事	野口 幸作	東京臨海病院
理事	浅沼 雅康	東京女子医科大学病院
理事	安宅 里美	本多病院
理事	市川 重司	公立福生病院
理事	江田 哲男	東京都済生会中央病院
理事	高野 修彰	東京通信病院
理事	長谷川 雅一	慶應義塾大学病院
理事	齊藤 謙一	東京連信病院
理事	平瀬 繁男	東京医科大学病院
理事	竹安 直行	日本赤十字社医療センター
理事	高橋 克行	足立共済病院
理事	市川 篤志	日本大学医学部附属板橋病院
理事	崎浜 秀幸	百草の森ふれあいクリニック
理事	原子 満	帝京大学医学部附属溝口病院
理事	工藤 年男	春日部市立病院
監事	葛西 一隆	
監事	野田扇 三郎	野田税理士事務所

顧問

顧問	岩田 拓治	
顧問	中澤 靖夫	

専門部委員会

総務委員会		
委員長	鈴木 雄一	東京大学医学部附属病院
委員	河内 康志	東京都済生会中央病院
委員	岡部 圭吾	昭和大学江東豊洲病院
委員	高瀬 正	昭和大学病院
委員	雨宮 広明	関野病院
委員	吉井 伸之	昭和大学病院
委員	大脇 由樹	慶應義塾大学病院
委員	村山 嘉隆	東京大学医学部附属病院

経理委員会

委員長	閑 真一	立正佼成会附属佼成病院
委員	矢野 孝好	日本大学医学部附属板橋病院
委員	横田 光	東京慈恵会医科大学病院
委員	人見 謙二	

編集委員会

委員長	浅沼 雅康	東京女子医科大学病院
副委員長	内藤 哲也	東大和病院
委員	岩井 譜憲	昭和大学藤が丘病院
委員	森 美加	杏林大学 保健学部 診療放射線技術学科
委員	高橋 克行	足立共済病院
委員	田沼 征一	イムス葛飾ハートセンター
委員	山崎 純乃	公立福生病院

情報委員会

委員長	安宅 里美	本多病院
委員	竹安 直行	日本赤十字社医療センター
委員	渡邊 真弓	河北総合病院
委員	岡 雄介	日本赤十字社医療センター
委員	臺 洋平	済生会中央病院
委員	中嶋 孝義	昭和大学病院

庶務委員会

委員長	野口 幸作	東京臨海病院
委員	松田紗代子	山王病院
委員	浅沼 芳明	板橋中央総合病院

学術教育委員会

役職	氏名	勤務先
委員長	市川 重司	公立福生病院
委員	長谷川 浩章	東京大学医学部附属病院
委員	岡本 実音	三井記念病院
委員	篠間 信子	みさと健和病院
委員	岡本 淳一	東京医科大学病院
委員	池田 麻依	
委員	近藤 愛香	永寿総合病院
委員	丹羽 慧子	みさと健和病院
委員	高橋 優弥	日本赤十字社医療センター
委員	圓城寺 純至	公立昭和病院
委員	比内 聖紀	日本大学医学部附属板橋病院
委員	鳥井志真子	東京都がん検診センター

広報委員会

委員長	長谷川 雅一	慶應義塾大学病院
委員	澤田 俊明	NEC健康管理センター
委員	高坂 知靖	佐々総合病院
委員	仲田 一成	東京医科大学病院
委員	田中 志穂	慶應義塾大学病院
委員	菅間 敏光	さい整形外科クリニック
委員	杣澤 路子	多摩健康管理センター
委員	江積 孝之	慈生会 野村病院
委員	大月 智絵	武藏村山病院
委員	篠田 浩	公立昭和病院
委員	大内 里香	よこはま乳腺・胃腸クリニック
委員	渡辺 祥子	南千住病院
委員	内山 秀彦	東京慈恵会医科大学附属第三病院
委員	原 良介	慶應義塾大学病院

涉外委員会

委員長	高野 修彰	東京通信病院
委員	大室 正巳	東京通信病院

厚生調査委員会

委員長	江田 哲男	東京都済生会中央病院
委員	齊藤 誠治	成城本下病院
委員	飯島 文洋	東京都済生会中央病院
委員	緒方 達哉	日本赤十字医療センター
委員	山中 真悟	公立福生病院
委員	能勢 記代	公立昭和病院
委員	今尾 仁	中央医療技術専門学校

特別委員会

委員長	大野 好夫	メディカルスクエア赤坂
委員	益戸 達夫	葛飾赤十字産院
委員	橋本 光男	

SR推進委員会(公益・災害)

委員長	渡辺 靖志	東京大学医学部附属病院
委員	武田 聰司	国立国際医療研究センター病院
委員	福原かおる	国立病院機構災害医療センター
委員	金子 貴之	国立病院機構災害医療センター
委員	高林 正人	松戸市立病院
委員	関本 道治	筑波大学 医学群 医療科学類
委員	穂坂 慶高	日本赤十字社医療センター
委員	吉田 勝衛	東京医科大学病院
委員	布川 嘉信	慶應義塾大学病院
委員	濱野 浩二	武藏野徳洲会病院
委員	浅野 翔太	東京大学医学部附属病院

事務局

事務員	引地 春枝	
-----	-------	--

平成28・29年度公益社団法人東京都診療放射線技師会役員名簿

支部委員会

城東支部委員会

役職	氏名	勤務先
支部長	齊藤 謙一	東京通信病院
副支部長	関谷 薫	浅草病院
委員	富丸 佳一	京葉病院
委員	宮谷 勝巳	東松戸病院

城西支部委員会

支部長	平瀬 繁男	東京医科大学病院
副支部長	市川 篤志	日本大学医学部附属板橋病院
委員	澤田 恒久	練馬総合病院

城南支部委員会

支部長	原子 満	帝京大学医学部附属溝口病院
副支部長	千葉 利昭	東邦大学医療センター大橋病院
委員	竹安 直行	日本赤十字社医療センター
委員	鎌田 治	東芝病院

城北支部委員会

支部長	工藤 年男	春日部市立医療センター
副支部長	高橋 克行	足立共済病院
委員	稻毛 秀一	順天堂大学医学部附属順天堂医院

多摩支部委員会

支部長	崎浜 秀幸	百草の森ふれあいクリニック
副支部長	鈴木 晋	公立昭和病院

地区委員会

第1地区

委員長	齊藤 謙一	東京通信病院
副委員長	保川 裕二	公益社団法人日本診療放射線技師会
委員	平田 充弘	読売クリニック
委員	増田 桂代	三井記念病院
委員	大澤 亨	三井住友銀行 東京健康サポートセンター
委員	針ヶ谷健介	佐々木研究所付属 杏雲堂病院
委員	渡部 史也	三井記念病院
委員	足立祐太郎	東京通信病院
委員	小澤 輝充	NPO りすシステム

第2地区

委員長	関谷 薫	浅草病院
副委員長	栗屋 浩介	永寿総合病院
委員	藤田 賢一	永寿総合病院
委員	阿蘇 敏樹	永寿総合病院
委員	松永 麻美	永寿総合病院
委員	野本 美穂	永寿総合病院
委員	大澤 吏佳	中央みなどクリニック
委員	江田 裕介	聖路加国際病院
委員	叶 将也	聖路加国際病院
委員	河内 伸江	聖路加国際病院
委員	小室 大樹	聖路加国際病院
委員	島田 諭	浅草病院
委員	田辺 清菜	浅草病院

第3地区

委員長	平瀬 繁男	東京医科大学病院
副委員長	松本 直	東京医科大学病院
委員	相場 真吾	東京医科大学病院
委員	井場 稔	慶應義塾大学病院
委員	熊谷 大樹	国立がん研究センター東病院
委員	田中 志穂	慶應義塾大学病院
委員	長谷川雅一	慶應義塾大学病院
委員	峰岸 純一	東京都予防医学協会
委員	若松 和行	国立国際医療研究センター病院
委員	曾根 辰徳	東京女子医科大学八千代医療センター

第4地区

役職	氏名	勤務先
委員長	竹安 直行	日本赤十字社医療センター
副委員長	大河内明彦	東京慈恵会医科大学附属病院
委員	高橋潤一郎	虎の門病院
委員	三上 徹	東京都済生会中央病院
委員	飯田 哲也	東京慈恵会医科大学附属病院
委員	野口 景司	東京慈恵会医科大学附属病院
委員	松田 敏治	東京慈恵会医科大学附属病院
委員	秋山 桂佑	東京慈恵会医科大学附属病院
委員	目黒 一浩	東京都済生会中央病院
委員	北岡 勇人	東京都済生会中央病院
委員	臺 洋平	東京都済生会中央病院
委員	本多 純美	日本赤十字社医療センター
委員	丸山 大樹	日本赤十字社医療センター
委員	和田麻奈美	日本赤十字社医療センター
委員	湯浅 仁博	北里研究所病院
委員	羽田 雅浩	北里研究所病院
委員	中嶋 直人	北里研究所病院
委員	佐藤 伸一	芝病院
委員	川内 覚	虎の門病院

第5地区

委員長	稻毛 秀一	順天堂大学医学部附属順天堂医院
副委員長	中村 浩英	東京大学医学部附属病院
委員	菊地 克彦	東京北医療センター
委員	若杉 慶市	トヨタ自動車株式会社 東京本社健康管理室
委員	大塚 健司	東京大学医学部附属病院
委員	藤田 正義	東京大学医学部附属病院
委員	大貫 弘二	順天堂大学医学部附属順天堂医院
委員	鈴木 正晴	東京健生病院
委員	中田 健太	東京大学医学部附属病院
委員	菅谷 正範	日本医科大学付属病院
委員	北野 りえ	東京医科歯科大学医学部附属病院

第6地区

委員長	高橋 克行	足立共済病院
副委員長	岡部 博之	新葛飾病院
委員	柳原 淑幸	東京さくら病院
委員	平林 秀行	内田病院
委員	横田 光	東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター
委員	富樫 敦史	東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター
委員	壬生 慎治	東京慈恵会医科大学附属第三病院
委員	鈴木 勝	東京女子医科大学 東医療センター
委員	伊佐 理嘉	博慈会記念総合病院
委員	片岡 剛	等潤病院
委員	今尾 仁	中央医療技術専門学校

第7地区

委員長	富丸 佳一	京葉病院
委員	田川 雅人	森山記念病院
委員	石橋 孝志	岩井整形外科内科病院
委員	宇賀神哲也	江戸川区医師会医療検査センター
委員	矢澤 真一	東京臨海病院
委員	宝田 光夫	同愛記念病院
委員	山城 淳	岩井整形外科内科病院

平成28・29年度公益社団法人東京都診療放射線技師会役員名簿

第8地区

役職	氏名	勤務先
委員長	鎌田 治	東芝病院
副委員長	三富 明	東京労災病院
委員	巷野 祐介	東京労災病院
委員	久保 聰	昭和大学病院
委員	山本 剛史	昭和大学病院
委員	島谷 将也	昭和大学病院
委員	大杉 英治	昭和大学病院
委員	藤田 政来	昭和大学病院
委員	島田 豊	東邦大学医療センター大森病院
委員	大津 元春	東邦大学医療センター大森病院
委員	川田 浩紀	東邦大学医療センター大森病院
委員	富永 良英	東邦大学医療センター大森病院
委員	中西 雄一	NTT東日本 関東病院
委員	浜野 安淳	NTT東日本 関東病院
委員	吉田 大祐	NTT東日本 関東病院

第9地区

委員長	市川 篤志	日本大学医学部附属板橋病院
副委員長	斎藤 由彦	恵比寿検診センター
委員	矢野 孝好	日本大学医学部附属板橋病院
委員	飯島 利幸	日本大学医学部附属板橋病院
委員	松田 雅之	日本大学医学部附属板橋病院
委員	小船 裕司	日本大学病院
委員	野田 忠明	板橋中央総合病院
委員	浅沼 芳明	板橋中央総合病院
委員	木下 秀記	愛誠病院
委員	比内 聖紀	日本大学医学部附属板橋病院
委員	西郷 洋子	帝京大学医学部附属病院
委員	小野 貴史	東京都健康長寿医療センター
委員	光武 秀悦	帝京大学医学部附属病院

第10地区

委員長	澤田 恒久	練馬総合病院
副委員長	大地 直之	河北総合病院
委員	杉本 羊右	東京衛生病院
委員	柴野 貴	東京衛生病院
委員	小西 智誠	株式会社パラメディカル
委員	桐 洋介	順天堂大学医学部附属練馬病院
委員	石川 徹	順天堂大学医学部附属練馬病院
委員	今野 重光	練馬区医師会医療健診センター
委員	大西 洋平	河北総合病院

第11地区

委員長	千葉 利昭	東邦大学医療センター大橋病院
副委員長	仲野 誠一	総合病院東京共済病院
委員	青木 好夫	三軒茶屋第一病院
委員	岩田 雄介	自衛隊中央病院
委員	岩崎 功	自衛隊中央病院
委員	細田 誠	関東中央病院
委員	坂井 香澄	関東中央病院
委員	名古 安伸	駒澤大学 医療健康科学部

第12地区

委員長	鈴木 晋	公立昭和病院
副委員長	篠田 浩	公立昭和病院
委員	細川 直志	公立昭和病院
委員	伊藤 俊一	佐々総合病院
委員	小野 賢太	東大和病院
委員	甲斐麻記子	東大和病院

第13地区

役職	氏名	勤務先
委員長	崎浜 秀幸	百草の森ふれあいクリニック
委員	竹中 輝和	立川中央病院附属健康クリニック
委員	川崎 政士	大型病院
委員	清水 賢均	慈生会 野村病院
委員	柏倉 賢一	慈生会 野村病院
委員	坂本 曜彦	IHI武藏健康支援センター
委員	菊池 智	東京医科大学八王子医療センター
委員	藤村 耕平	東京医科大学八王子医療センター
委員	坂本 隆嗣	府中医王病院
委員	首藤 淳	杏林大学医学部付属病院
委員	福島 啓太	杏林大学医学部付属病院
委員	西村 健吾	青梅市立総合病院
委員	小峰 彩子	青梅市立総合病院
委員	多田 堅	武藏野徳洲会病院
委員	熊谷 果南	公立福生病院
委員	土谷 健人	公立福生病院
委員	山中 真悟	公立福生病院
委員	佐藤 靖高	公立福生病院
委員	松田 亜祐美	公立福生病院
委員	山崎 純乃	公立福生病院
委員	圓城寺純男	多摩南部地域病院

第14地区

委員長	宮谷 勝巳	松戸市立病院
副委員長	内山 秀彦	東京慈恵会医科大学附属第三病院
委員	川上 光	
委員	河手 健	齐井整形外科
委員	佐藤 修	さつき会かずさアカデミアクリニック
委員	斎藤 晴美	日本医科大学千葉北総病院
委員	松坂誠太郎	松坂誠太郎事務所
委員	高林 正人	松戸市立病院
委員	勝木 葉子	東京慈恵会医科大学附属柏病院
委員	鈴木 貴子	帝京大学ちば総合医療センター
委員	井野 貴明	東京慈恵会医科大学附属柏病院
委員	柏田 勝司	耳鼻咽喉科 サージセンターちば

第15地区

委員長	原子 満	帝京大学医学部附属溝口病院
委員	水野 靖弘	出沢明PEDクリニック
委員	池田 麻依	
委員	川崎 優太	昭和大学藤が丘病院
委員	松井 幹	昭和大学横浜市北部病院
委員	小野寺健太	昭和大学藤が丘病院
委員	元島 祐介	関東労災病院
委員	岡田 圭伍	昭和大学横浜市北部病院

第16地区

委員長	工藤 年男	春日部市立医療センター
副委員長	芦田 哲也	春日部市立医療センター
委員	金場 敏憲	国際医療福祉大学
委員	中谷儀一郎	日本医療科学大学
委員	山本与志樹	みさと健和病院
委員	吉田 治生	春日部市立医療センター

会費減額制度のお知らせ

公益社団法人東京都診療放射線技師会の「会費減額」制度をお知らせいたします。

本制度は本会「会費に関する規程 第9条（会費減額）」に基づき、規定の年齢を迎えた本会会員を対象とし年会費優遇の特典を設けております。

この制度は、諸先輩の方々の豊富な経験により培われた医療における接遇や技術を、後進の会員はもとより、都民ならびに社会のために継続して役立てていただくことを目的としております。

ご退職と同時に本会を退会されるのではなく、この制度をご理解のうえ、ぜひ今後ともご協力・ご指導をお願い申し上げる所存です。

なお、本制度を申し込む場合は、前年末までに所定の申請を行っていただく必要があります。

皆さまのご活用を心よりお待ち申し上げております。

※ 会誌巻末の会費減額処置申請書に必要事項を明記のうえ、当会事務所まで届出てください。

公益社団法人東京都診療放射線技師会 会費に関する規程

(第9条抜粋)

(会費減額)

第9条 定款第5条で定める会員で、次の事項を満たす者は、会費減額の取扱いを受けることができる。

- (1) 60才以上の会員
- (2) 10ヶ年以上会員として在籍し、会費の完納者
- 2 当該年度の前年末までに所定の申請を行い、〔様式6〕、理事会承認を経て新年度から資格を有する。
- 3 会費減免対象者の会費は以下のとおりとする。

(1) 60才以上～70才未満	年額	7,000円
(2) 70才以上	年額	3,000円
- 4 会費減額者は以下の特別待遇を受けることができる。
 - (1) この法人で行う啓発、教育活動を担える者として待遇する

会費減額処置申請書

私は、会費減額処置を申請いたします。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 殿

氏名			
氏名(カタカナ)			
氏名(英語)			
性別	男性 · 女性		
生年月日	昭和 年 月 日 生 (歳)		
勤務先	勤務先名		
	勤務先所在地	〒 -	
	電話		
自宅	現住所	〒 -	
	電話		
本会よりの通信先	勤務先 · 自宅		
技師籍	資格取得	診療エックス線技師 · 診療放射線技師	
		第 回 国家試験合格	
		年 月	
	技師籍登録	厚生労働省 第 号	
	年 月		
技師歴	年 月		
	年 月		
	年 月		
関連免許	免許名		登録番号
			年 月
			年 月
			年 月
備考			

技師会歴 昭和 年入会(年間)

受付 平成 年 月 日

理事会承認 平成 年 月 日 印

減額処置通知 平成 年 月 日 印

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

平成28年度

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 1. 学術研修会 | |
| ☆第15回ウインターセミナー | 平成29年2月18日(土) |
| 2. きめこまかなか生涯教育 | |
| 第59回きめこまかなか生涯教育 | 平成29年3月19日(土) |
| ☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー | |
| 第62回日暮里塾ワンコインセミナー | 平成29年1月19日(木) |
| 4. 集中講習会 | |
| 第9回MRⅠ集中講習会 | 平成29年1月14日(土) |
| ☆5. 支部研修会 | |
| 城西支部研修会 | 平成29年2月10日(金) |
| 6. 地区研修会 | |
| 第12地区研修会 | 平成29年1月26日(木) |
| 第16地区研修会 (TART・SART地区合同勉強会) | 平成29年2月18日(土) |
| 7. 特別委員会研修会 | |
| S R推進委員会研修会 (旧災害対策委員会研修会) | 平成29年3月 |
| 9. 地球環境保全活動 | |
| 荒川河川敷清掃活動 | |
| 日暮里駅前清掃活動 | |
| 富津海岸清掃活動 | |

関連団体

- | | |
|----------------------------------|----------------------|
| 平成28年度第1回乳がん検診従事者講演 | 平成28年12月1日(木) |
| 平成28年度第5・6回マンモグラフィ研修会(ポジショニング入門) | 平成28年12月8日(木)、9日(金) |
| 超音波スクリーニング研修講演会2016五反田 | 平成28年12月17日(土) |
| 平成28年度第3回関東Anglo研究会 ステップアップセミナー | 平成29年1月7日(土) |
| 平成28年度第5回業務拡大に伴う統一講習会 | 平成29年1月21日(土)～22日(日) |

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

平成28年 東京放射線 総目次

Vol.63 No.735~745

1月号 Vol.63 No.735

診療放射線技師のための接遇規範	1
謹賀新年	2
巻頭言 年頭所感	会長 篠原健一 4
会告1 新春のつどい	5
会告2 平成27年度第4・5・6回業務拡大に伴う統一講習会	6
会告3 第12地区研修会(第52回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)第12地区・学術教育委員会	8
会告4 平成27年度城南支部研修会	城南支部委員会 9
会告5 第14回ウインターナセミナー	学術教育委員会 10
会告6 第7回MRI集中講習会	学術教育委員会 11
会告7 平成27年度城西支部研修会	城西支部委員会 12
会告8 第53回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 13
会告9 平成27年度災害対策委員会研修会	災害対策委員会 14
お知らせ1 第11地区研修会	第11地区 15
お知らせ2 第1地区研修会	第1地区 16
お知らせ3 第2地区研修会	第2地区 17
お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 18
東京都功労者表彰	19
連載 誌上講座 第4回 超音波	小原 和史 21
平成28年新春企画 新春座談会	26
こえ	
・第49回日暮里塾ワンコインセミナー「基礎からの一般撮影」に参加して 伊藤佳奈恵	35
・中央区健康福祉まつりに参加しました 栗屋浩介	36
・中央区健康福祉まつりに参加して 前野亜希子	37
・荒川クリーンエイド2015に参加して 中村浩英	38
・第6地区研修会を企画して 岡部博之	39
パイプライン	
・平成27年度東京都がん検診センター 第2回乳がん検診従事者講演会	40
・関東Angio研究会(第2回ステップアップセミナー)	42
・第7回ADCT研究会	43
・第39回日本脳神経CI学会総会	44
平成27年度第7回理事会報告	45
平成27年10月期会員動向	48
研修会等申込書	50
登録事項変更届	51

Column & Information

・イエローケーキ	34
・求人情報	35
・学術講演会・研修会等の開催予定	49

2月号 Vol.63 No.736

診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 1人は皆のため、皆は1人のため 副会長 白木 尚	4
会告1 平成27年度城西支部研修会	城西支部委員会 5
会告2 第53回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 6
会告3 第6地区研修会(第54回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)	第6地区・学術教育委員会 7
会告4 平成27年度第5・6回業務拡大に伴う統一講習会	8
会告5 災害対策委員会研修会	災害対策委員会 10

会告6 第55回日暮里塾ワンコインセミナー 学術教育委員会 11

お知らせ1 第11地区研修会 第11地区 12

お知らせ2 第1地区研修会 第1地区 13

お知らせ3 第14地区研修会 第14地区 14

お知らせ4 第2地区研修会 第2地区 15

お知らせ5 第8地区研修会 第8地区 16

お知らせ6 第5地区研修会 第5地区 17

お知らせ7 東放技会員所属地区のご案内 情報委員会 18

叙勲 瑞宝双光章 19

連載 誌上講座 第5回 超音波 桐山昌孝 21

こえ

　・第22回役員研修会参加報告 柴山豊喜 30

　・日暮里駅前清掃に参加して 鈴木雄一 31

パイプライン

　・平成27年度第2回乳がん検診従事者講習会(東京都生活習慣病検診従事者講習会) 32

　・日本医用画像管理学会国際交流セミナー開催のお知らせ 34

　・平成28年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 35

平成27年度第8回理事会報告 36

平成27年11月期会員動向 40

研修会等申込書 42

Column & Information

　・お詫びと訂正 29

　・イエローケーキ 30

　・求人情報 39,40,43

　・学術講演会・研修会等の開催予定 41

3月号 Vol.63 No.737

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 三つ目のボタン	会長 篠原健一 4
告示 平成28・29年度役員選挙	選挙管理委員会 5
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第67回定期総会	6
会告2 第6地区研修会(第54回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)第6地区・学術教育委員会	7
会告3 災害対策委員会研修会	災害対策委員会 8
会告4 第55回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 9
会告5 第67回定期総会での表彰(勤続20年)について渉外委員会	10
お知らせ1 第5地区研修会	第5地区 11
お知らせ2 地球環境保全活動 クリーン日暮里21(日暮里駅前清掃活動)	第5地区 12
お知らせ3 東放技事務所にAED設置のお知らせ	13
お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 14
連載 誌上講座 第6回 超音波	桐山昌孝 15
こえ	

　・OTAふれあいフェスタ2015に参加してきました 島田 豊 23

　・OTAふれあいフェスタ印象記 濱田裕貴 24

　・OTAふれあいフェスタ体験記 岩崎 功 25

　・第18回メディカルマネジメント研修会 K子 26

　・第4地区研修会「Exposure Indexの使用方法と注意点」に参加して 加藤紀明、郡司 威 27

パイプライン

　・日本医用画像管理学会国際交流セミナー開催のお知らせ 28

　・超音波画像研修会 第242回定期例会 29

　・超音波画像研修会 腹部エコーの寺子屋 29

　・平成28年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 30

平成27年度第9回理事会報告	32
研修会等申込書	36
登録事項変更届	37
—— Column & Information ——	
・会費納入のお願い	5
・イエローケーキ	12
・学術講演会・研修会等の開催予定	35
・求人情報	38,39

4月号 Vol.63 No.738

診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 行かざれば至らず	会長 篠原健一 4
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第67回定期総会選挙管理委員会	5
会告2 平成28年度第1,2回業務拡大に伴う統一講習会	6
会告3 平成28年度多摩支部研修会	多摩支部委員会 8
会告4 第57回きめこまかな生涯教育	学術教育委員会 9
会告5 平成28年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」 (第56・57回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)	学術教育委員会 10
会告6 第14回ペイシエントケア学術大会	学術教育委員会 12
お知らせ1 第13地区・多摩放射線技師連合合同研修会	第13地区委員会 13
お知らせ2 東京都診療放射線技師会事務所にAEDが設置されました	14
お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 15
病院における災害対策に対する実施状況調査	災害対策委員会 16
連載 誌上講座 第7回 超音波	林 弘明 31
こえ	
・新春のつどい感想	茂木志帆 35
・「平成28年新春のつどい」印象記	谷畑誠司 36
・MRI集中講座に参加して	河崎良太 37
・第14地区研修会を企画して	河手 健 38
パイプライン	
・超音波画像研修会 腹部エコーの寺子屋	39
・平成28年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	40
News拾い読み	42
平成27年度第10回理事会報告	47
平成27年12月期会員動向	52
研修会等申込書	55
—— Column & Information ——	
・5月号のお知らせ	3
・計報	46
・イエローケーキ1	46
・イエローケーキ2	51
・学術講演会・研修会等の開催予定	53
・求人情報	54

5月号 Vol.63 No.739

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 卒業、定年、そして…	副会長 葛西一隆 4
告示 公益社団法人東京都診療放射線技師会 平成28・29年度役員選挙について 選挙管理委員会	5
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第67回定期総会開催について(招集通知)	6
会告2 平成28年度多摩支部研修会	多摩支部委員会 7
会告3 平成28年度第2回業務拡大に伴う統一講習会	8

会告4 平成28年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」 (第56・57回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)	学術教育委員会 10
会告5 第57回きめこまかな生涯教育	学術教育委員会 12
会告6 第14回ペイシエントケア学術大会	学術教育委員会 13
会告7 平成27年度学術奨励賞	学術教育委員会 14
会告8 平成27年度新人奨励賞	学術教育委員会 15
お知らせ1 クリーンデー(中央区内一斉清掃日)	第2地区 16
お知らせ2 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 17
公益社団法人東京都診療放射線技師会 第67回定期総会資料	
・第1号議案 平成27年度事業報告(案)	18
I 総括	
II 事業報告	
III 活動報告	
IV 活動報告(庶務概要)	
・第2号議案 平成27年度決算報告(案)	39
平成27度監査報告	48
・第3号議案 平成28年度事業計画(案)	49
I 総括	
II 定款に基づく本会の事業	
III 委員会事業計画	
・第4号議案 平成28年度予算(案)	59
バイブル	
・平成28年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	61
・第33回中央医療技術専門学校 同窓会総会・中央放射線学会	63
平成27年度第11回理事会報告	64
研修会等申込書	69
—— Column & Information ——	
・休載のお知らせ	3
・学術講演会・研修会等の開催予定	68
・求人情報	71

6月号 Vol.63 No.740

診療放射線技師業務標準化宣言	2
診療放射線技師のための接遇規範	4
巻頭言 評価が必要	副会長 白木 尚 5
会告1 平成28年度第2回業務拡大に伴う統一講習会	6
会告2 第14回ペイシエントケア学術大会	学術教育委員会 8
会告3 平成28年度診療放射線技師基礎技術講習「一般撮影」	9
会告4 第58回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 10
会告5 平成28年度城東支部研修会	城東支部委員会 11
会告6 第59回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 12
連載 誌上講座 第8回 超音波	林 弘明 13
こえ	
・平成27年度城南支部研修会に参加して	徳田正樹 16
・城南支部研修会を終えて(運営側の立場として)	松井 幹 17
・第2地区研修会に参加して	宮崎礼奈 18
・第2地区研修会に参加して	近藤愛香 19
・第5地区研修会に参加して	鈴木正晴 20
・第6地区meetingに参加して	阿内円香 21
・平成27年度災害対策委員会研修会	加藤紀明 22
・地球環境保全活動 クリーン日暮里21(日暮里駅前清掃活動)に参加して	粟屋浩介 23
・ピンクリボンウォーク2016に参加して	大月智絵 24

パイプライン

・第33回中央医療技術専門学校 同窓会総会・中央放射線学会	25
平成28年度第1回理事会報告	26
平成28年1~3月期会員動向	28
研修会等申込書	31

Column & Information

・求人情報	28
・公益社団法人東京都診療放射線技師会 第67回定期総会 準備委員・職員名簿	29
・イエローケーキ	29
・学術講演会・研修会等の開催予定	30

7・8月合併号 Vol.63 No.741

巻頭言 巨星墜つ	会長 篠原健一 4
会告1 第58回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 5
会告2 平成28年度城東支部研修会	城東支部委員会 6
会告3 第59回日暮里塾ワンコインセミナー	7
会告4 平成28年度第3,4回業務拡大に伴う統一講習会	8
会告5 第15回サマーセミナー	学術教育委員会 10
会告6 平成28年度城南支部研修会	城南支部委員会 11
会告7 平成28年度城北支部研修会	城北支部委員会 12
お知らせ1 平成28年度地区対抗親睦ボウリング大会	厚生調査委員会 13
お知らせ2 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 14
平成27年度 公益社団法人東京都診療放射線技師会アンケート調査結果	厚生調査委員会 15
連載 誌上講座 第9回 超音波	藤井雅代 26
こえ	
・第57回きめこまかな生涯教育に参加して	持田奈緒 33
・マンモグラフィはじめの一歩に参加して	山崎綾乃 34
・フレッシャーズセミナーを受講した感想	濱川裕也 35

パイプライン

・南関東FRT第2回研修会	36
平成28年度第2回理事会報告	37
平成28年1~5月期会員動向	40
研修会等申込書	42

Column & Information

・追悼	32
・イエローケーキ1	33
・「東京放射線」7・8月合併号のお知らせ	35
・イエローケーキ2	40
・学術講演会・研修会等の開催予定	41
・求人情報	43

9月号 Vol.63 No.742

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 心技体…こころ	副会長 白木 尚 4
会告1 第60回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 5
会告2 平成28年度城南支部研修会	城南支部委員会 6
会告3 第16回合同学術講演会	学術教育委員会 7
会告4 第58回きめこまかな生涯教育	学術教育委員会 8
会告5 平成28年度城北支部研修会	城北支部委員会 9
会告6 平成28年度第4回業務拡大に伴う統一講習会	10
お知らせ1 平成28年度電離箱式サーベイメータ確認校正	SR推進委員会 12

お知らせ2 平成28年度第11地区研修会	第11地区委員会 13
----------------------	-------------

お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 14
---------------------	----------

連載 誌上講座 第10回 超音波	今尾 仁 15
------------------	---------

こえ

・フレッシャーズセミナーに参加して	青木優梨奈 21
・フレッシャーズセミナーを受講して	池部翔子 22
・「中央区クリーンデー」に参加して	藤井脩平 23
・「中央区クリーンデー」を終えて	藤田賢一 24

パイプライン

・超音波画像研究会 第246回定例会、第247回定例会、第13回ワンパイツー講習会	25
・第5回冠動脈模型作成セミナー	26
・胃X線精度管理研究委員会 第26回学術集会	28
平成28年度第3・4・5回理事会報告	29
平成28年1~6月期会員動向	36
研究会等申込書	38

Column & Information

・イエローケーキ	20
・東放技は積極的に参加します	22
・求人情報	36、39
・学術講演会・研修会等の開催予定	37

10月号 Vol.63 No.743

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 100年の大計	会長 篠原健一 4
会告1 第16回東放技・東京支部合同学術講演会	学術教育委員会 5
会告2 第58回きめこまかな生涯教育	学術教育委員会 6
会告3 第15回城北支部研修会	城北支部委員会 7
会告4 平成28年度第4回業務拡大に伴う統一講習会	8
会告5 日本診療放射線技師会の永年勤続表彰について	涉外委員会 10
お知らせ1 平成28年度電離箱式サーベイメータ確認校正	SR推進委員会 11
お知らせ2 平成28年度第11地区研修会	第11地区委員会 12
お知らせ3 平成28年度第3地区研修会	第3地区委員会 13
お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 14
連載 誌上講座 第11回 超音波	藤井雅代 15
こえ	
・平成28年度城東支部研修会に参加して	藤井脩平 22
・城東支部研修会に参加して	外山若菜 23
・地区対抗ボーリング大会に参加して	笛本友紀恵 24

パイプライン

・超音波画像研究会 第13回ワンパイツー講習会、第247回定例会	25
・第5回冠動脈模型作成セミナー	26
・胃X線精度管理研究委員会 第26回学術集会、第3回読影基準検討会	28
・超音波スクリーニング研修講演会2016五反田	29
・平成28年度東京都がん検診センター 第3・4回マンモグラフィ研修会(読影補助編)	30
・第15回全国X線撮影技術読影研究会	32
・平成28年度東京都がん検診センター 第5・6回マンモグラフィ研修会(ポジショニング入門)	34
・平成28年度東京都がん検診センター 第1回乳がん検診従事者講演会	36
平成28年1~8月期会員動向	37

Column & Information

・イエローケーキ	21
----------	----

・東放技は積極的に参加します	24
・求人情報	37
・学術講演会・研修会等の開催予定	38

11月号 Vol.63 No.744

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 三つの宝物	4
会告1 平成28年度城北支部研修会	5
会告2 第61回日暮里塾ワンコインセミナー	6
会告3 第9回MRI集中講習会	7
お知らせ1 平成28年度第11地区研修会	8
お知らせ2 平成28年度第3地区研修会	9
お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内	10
第67回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会（抄）	11
平成27年度 功労賞（勤続20年表彰）・小野賞受賞者	21
平成28・29年度 地区・特別委員会のカオ	23

こ え

・第15回サマーセミナーに参加して	匿名希望	30
-------------------	------	----

パイプライン

・超音波画像研究会 第247回定例会	31
・平成28年度東京都がん検診センター 第3・4回マンモグラフィ研修会（誌影補助編）	32
・第15回全国X線撮影技術誌影研究会	34
・平成28年度東京都がん検診センター 第5・6回マンモグラフィ研修会（ポジショニング入門）	36
・平成28年度東京都がん検診センター 第1回乳がん検診従事者講演会	38
・超音波スクリーニング研修講演会2016五反田	39
・平成28年度第3回関東Anglo研究会 スッテップアップセミナー	40
平成28年度第6回 理事会報告	42
平成28年1～9月期会員動向	45
研修会等申込書	49

Column & Information

・お詫びと訂正	22
・東放技は積極的に参加します	29
・イエローケーキ	45
・学術講演会・研修会等の開催予定	46
・求人情報	47,48

12月号 Vol.63 No.745

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 すぐ役に立つ???	4
会告1 新春のつどい	5
会告2 第9回MRI集中講習会	6
会告3 第62回日暮里塾ワンコインセミナー	7
会告4 平成28年度第5回業務拡大に伴う統一講習会	8
会告5 平成28年度城西支部研修会	10
お知らせ1 平成28年度第12地区研修会	11
お知らせ2 第16地区勉強会（TART・SART地区合同）	12
お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内	13
平成28・29年度 専門部委員会のカオ	14
連載 誌上講座 第12回（最終回）超音波	菅 和雄 17

こ え

・「荒川クリーンエイド2016」に参加して	北野りえ	26
-----------------------	------	----

パイプライン

・超音波スクリーニング研修講演会2016五反田	27
・平成28年度東京都がん検診センター 第5・6回マンモグラフィ研修会（ポジショニング入門）	28
・日本医用画像管理学会 第9回フィルムレスセミナー	30
平成28年1～10月期会員動向	31
平成28年度第7回 理事会報告	32
平成28・29年度公益社団法人東京都診療放射線技師会 役員名簿	37
会費減額制度のお知らせ	40
会費減額処置申請書	41
研修会等申込書	47

Column & Information

・イエローケーキ	31
・お詫びと訂正	36
・求人情報	36
・学術講演会・研修会等の開催予定	42
・平成28年東京放射線総目次	43

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回	
開催日	平成 年 月 日() ~ 月 日()	
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック	
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県	
ふりがな		
氏名		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []	
	TEL (必須)	
	FAX	
	メール (PCアドレス)	
備考		

FAX 03-3806-7724
公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所

Postscript

年 末年始で忘年会や新年会など、何かと外で夕食を食べる機会が増えるこの時期ですが、皆さんはお店を選ぶとき、どのような基準で選んでいますか。

年々、外で食べる機会が減っている私がお店を選ぶときは、家ではなかなか作ることが出来ない料理でなおかつコストパフォーマンスのいいものを基準で探しています。高くて美味しいものは探せばありますが、懐がさびしくなってしまいます。また、家でもそれなりのものが作れる料理ですと、せっかく外食するのにもったいないと思ってしまいます。その点で探したとき、真っ先に思い浮かぶ料理の一つに焼き鳥があります。その中でも私はレバーが大好きなのでレバーが美味しいお店で探しています。

ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、鶏は羽と鶏ガラ以外はすべて食べられると言われており、トサカから足の先まで食べられるそうです。鶏ガラは食べられませんが、出汁として使用できるので、鶏はほぼ無駄のない食材といえます。

今まで何気なく食べていた焼き鳥

も20種類以上の部位があり、手羽だけでも手羽先、手羽中、手羽元と種類が分かれます。ももやねぎま、皮、レバー、つくね、軟骨などは定番で、最近ではほんじりやハツなどの部位もスーパーでよく見かけるようになりました。希少部位としては、小豆（脾臓）やおたふく（胸腺）などもあるそうです。

私も今までにちょうちん（玉子になる前の黄身）やせせり（首周りの肉）、ソリレース（腸骨の付け根の窪みの肉）など何種類か食べたことがあります、数えてみましたが半分以上が食べたことがない部位でした。全ての部位を出しているお店を見ついたことはありませんが、いつか全種類を制覇してみたいと思っています。

皆さんが今後もし、お店選びに悩んだときはお酒にも合う焼き鳥を選択肢の一つに加えてみてはいかがでしょうか。

今年も一年、東京放射線をお読みいただきありがとうございました。来年もよろしくお願ひいたします。どうぞよいお年をお迎えください。

B.F.S

■ 広告掲載社

コニカミノルタジャパン(株)
東京電子専門学校
東芝メディカルシステムズ(株)
富士フィルムメディカル(株)
(株)森山X線用品

東京放射線 第63巻 第11号

平成28年11月25日 印刷 (毎月1回1日発行)

平成28年12月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一

編集代表 浅沼 雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月～金 9:30～17:00

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日までは執務いたしません

電話・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一

山崎綾乃